

SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES SNK Report 2014

# 新日本空調 SNKLポート2014





# 空気・信頼そして未来、 見えないものを大切にします。

## 企業理念

新日本空調株式会社(以下「新日本空調」と称す)は、2008年1月に「企業理念」を制定しました。

1. 空気・水・熱に関する技術の研究と開発を通して、地球環境に配慮した環境設備企業であり続けます。
2. 顧客・株主・職員・協力を会社をはじめ、すべての人々との信頼関係を大切にします。
3. 「良き企業市民」として、社会の発展に貢献します。
4. 公正、透明、自由な競争を基本に、開かれた企業活動を行います。

## 経営の基本方針

新日本空調グループは、  
「豊かな環境の創造」  
「人々との信頼関係の尊重」  
「社会への貢献」を  
経営の基本として掲げ、活動しています。

## 企業行動憲章

新日本空調グループは、ステークホルダー(顧客・株主・職員・協力会社等)に対するCSR(Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任)への取り組み姿勢を明確に打ち出し、以下のとおり企業行動憲章を制定しています。

1. 空気を中核とする熱・水技術の研究と開発に努め、環境創造分野に新たな価値を創り出し、社会的に信頼される技術とサービスを提供します。
2. 公正、透明、自由な競争を基本に、開かれた企業づくりに努めます。
3. 株主はもとより、社会とのコミュニケーションを緊密に行い、積極的かつ公正な企業経営を目指します。
4. 環境に調和する技術の研究・開発を通して、地球規模の環境保全に貢献します。
5. 「良き企業市民」として、社会貢献活動を行います。
6. 労使相互信頼を基本に、職員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、希望に溢れた企業風土を創ります。
7. 反社会的勢力との関係遮断を断固たる決意で臨み、順法意識の確立と健全な企業風土を醸成します。
8. 海外においては、国際ルールや現地の法律順守はもとより、その文化や慣習を尊重し、その発展に貢献します。
9. 本行動憲章の役割を深く認識し、関係者に周知、徹底するとともに、当社グループ内の取り組み体制を整備し、企業倫理の徹底を図ります。
10. 緊急事態発生時の社内即応体制を確立するとともに、社内外への迅速な情報公開と説明責任を明確にします。

## 会社力要諦十項

- ・ 随処作主の一丸体制  
夫々の当事者意識と組織(三位一体⇒チームSNK)活動の融合
- ・ 顧客目線の迅速対応
- ・ 変化への鋭敏対応
- ・ 人間力こそ会社力
- ・ 小さな本社
- ・ 前線第一主義
- ・ 量入制出
- ・ 知行合一
- ・ 根胆力  
根拠を踏まえた胆力(戦略・覚悟・決断・実行 リーダーの心得)
- ・ 安全第一・健康第一



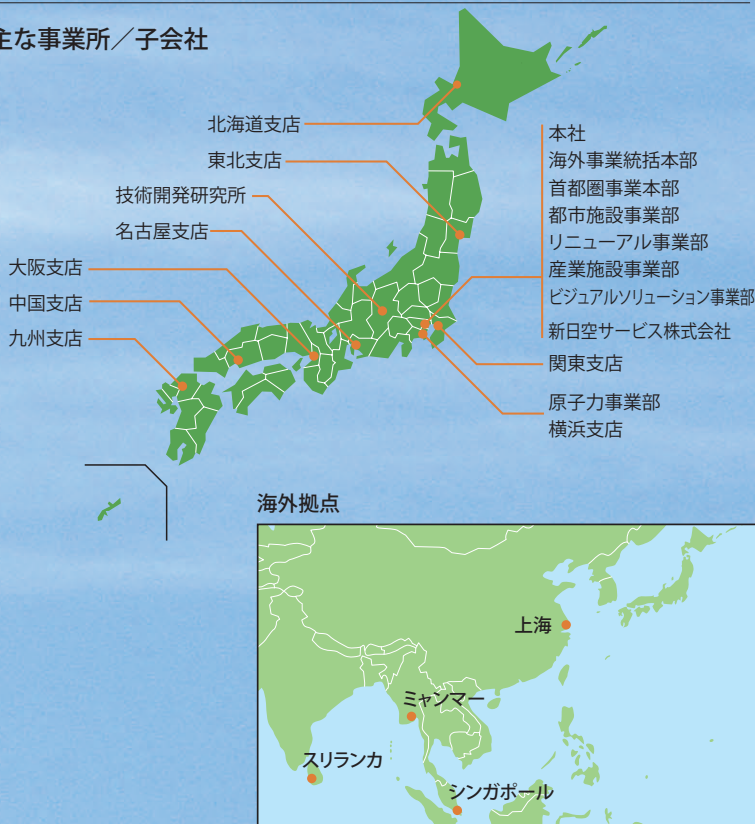




## 会社概要

商号	新日本空調株式会社 Shin Nippon Air Technologies Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 夏井博史
設立	1969年10月1日
本社	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
資本金	51億5,860万円(2014年3月31日現在)
事業内容	空気調和、冷暖房、換気、給排水、衛生設備等の設計、 監理ならびに工事請負
建設業許可	国土交通大臣許可(特-21)第2716号 管工事業、機械器具設置工事業、建築工事業、電気工事業 国土交通大臣許可(般-21)第2716号 消防施設工事業 一級建築士事務所 東京都知事登録第13767号
従業員数	連結1,298名、単体967名 (有価証券報告書ベース、2014年3月31日現在)
株式の状況	発行可能な株式総数 84,252,100株 発行済み株式の総数 25,282,225株 株主数 5,958名(2014年3月31日現在)

## ■主な事業所／子会社



企業理念、経営の基本方針、企業行動憲章	02
会社概要、目次	03
トップコミットメント	04
新中期経営計画	05
2013年度業務成績	06
組織概要(組織図、役員・執行役員、事業所所在地)	08
新日本空調の歴史	10

## 企業活動

### トピックス

特集:最新施工事例	12
-----------	----

### 基本姿勢と透明性

新日本空調グループのCSR	16
コーポレートガバナンス	17
コンプライアンス	18
内部統制の取組み	19

### セグメント紹介

■ オフィス、データセンター、商業・文化施設	20
■ ホテル、学校、病院	22
■ 工場、研究所	24
■ 省エネ、地域冷暖房	26
■ リニューアル、メンテナンス	28
■ 海外	30

## 安全・品質・環境マネジメント

マネジメントシステムの概要	32
安全・品質・環境状況	33
安全・品質・環境活動	34
ZEB化・新ショールーム化工事	36
身近な空調のはなし	38

## ステークホルダーとの対話

人権・制度・人材育成・職場環境	40
コミュニケーション	42
社会貢献活動	44
事業部紹介	
大阪支店	46
学会賞 受賞実績紹介	48
社外ステークホルダー・インタビュー	
岩手県「ホテル羅賀荘」三浦支配人	50

# 地球環境を先導すべく、環境ソリューション 「SNK品質」の深化

## はじめに

昭和5年(西暦1930年)に当社の前身である「東洋キヤリア工業」が誕生して以来、「技術のキヤリア」との呼び声が高く世界を席卷した高い技術とパイオニア精神は今なお受け継がれております。

空調を核としつつ設備全般に取り組むエンジニアリング会社である当社の技術を支えるのは「人」であ

り、職員一人ひとりの「人間力」に他なりません。「人間力」ということは「なくてはならない人」であることを表します。「専門性」と「人間性」の二つを合わせ持つ人こそ「なくてはならない人」でありその職員の総和が「なくてはならない会社」としての基軸をなすと考えます。当社は、この「人間力」を以て、顧客ニーズを的確に捉えた「SNK品質」の深化と進化で真価を極め、「顧客満足度」において他社の追随を許さない環境ソリューションカンパニーを目指します。

## 2013年度の総括

2013年度は世界的な金融緩和や各種政策対応の結果、先進国では底堅く推移し、ユーロ圏も持ち直しが見え始めました。一方、日本経済において受注環境の潮目の変化を迎えておりますが、資機材や人件費の高騰、人手不足も顕在化しこれらへの対応が緊急課題となってきました。このような状況下において、受注工事932億3千万円(前年比2.9%増)、完成工事920億3千4百万円(前年比7.6%増)、繰越工事499億1千9百万円(前年比2.5%増)となりました。利益面にお

代表取締役社長

夏井博史

夏井博史







# シオンカンパニーとして、顧客ニーズに的確に応えたと進化で真価を極める

きましたは、営業利益22億3千2百万円(前年比0.1%増)、経常利益25億1千3百万円(前年比2.3%増)、当期利益13億3千9百万円(前年比1.3%増)という結果となり、これは社内目標としておりました受注、完成、繰越、利益の四つの項目で前年実績を超えるという『増の4冠』を三期連続で達成できました。2011年度に中期経営計画をスタートさせ、掲げた課題を着実に実行した賜物であり、「持続的成長発展への基盤」を固め、今回の新中期経営計画につなぐ流れをつくることができました。

## 「新中期経営計画 究極真価プラン2016」 (2014年度～2016年度)

「地球環境を先導すべく、環境ソリューションカンパニーとして、顧客ニーズに的確に応えた『SNK品質』の深化と進化で真価を極める」を掲げ、“なくてはならない会社”としてのポジションを目指してまいります。『SNK品質』とは「超信頼品質」であり、「営業品質」、「技術品質」、そして「コンプライアンス品質を含む本

社品質」等の包括的概念であります。

2014年度からスタートした「新中期経営計画」(2014年度～2016年度)は、

- 1.顧客信頼度の究極真価
- 2.技術の継承と先進技術の訴求展開
- 3.コーポレートガバナンスの強化と機動力のある組織体制

を基本課題として、地球環境や顧客のニーズに基づいた最適な環境ソリューションに究極の「SNK品質」で応え、企業価値の向上を目指します。

また、株主の皆様へ安定的かつ継続的に成果の還元を行うことが経営の重要課題と考えており、2014年度より基本配当を年間20円にアップすることとし、業績、計画の達成度に応じて成果配分を特別配当の形で還元してまいります。

定量計画は、初年度の2015年3月期(連結ベース)で、受注高1000億円、完工高950億円、経常利益28億円、当期純利益15億円、最終年度の2017年3月期で受注高1120億円、完工高1060億円、経常利益37億円、当期純利益20億円を目指します。

## 新中期経営計画 (2014年度～2016年度)

基本方針 顧客ニーズに的確に応えた「SNK品質」の深化と進化で真価を極める

定性計画	1.顧客信頼度の究極真価	①「ワンストップソリューション」の体制推進 ②「アジアを拠点としたグローバル戦略」の推進 ③リソースの大胆な傾斜配分
	2.技術の継承と先進技術の訴求展開	①培った技術の継承と高度化推進 ②「顧客ニーズ、事業ニーズに基づく技術開発」の強化
	3.コーポレートガバナンスの強化と機動力のある組織体制	①コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化 ②機動力のある組織体制

2014年度施策 1.「新人事制度」活用による人材力の強化  
2.「新ショールーム」を活用した「スマートプレゼン活動」

### 定量計画(連結)

(単位:百万円)

	2014年度計画	2015年度計画	2016年度計画
受注工事高	100,000	105,000	112,000
完成工事高	95,000	100,000	106,000
当期純利益	1,500	1,700	2,000



# 2013年度業務成績

新日本空調グループは、中期経営計画を推し進めた結果、受注工事高、完成工事高、繰越工事高、利益の四つの項目でいずれも前期実績を上回る「増の四冠」を三期連続達成しました。

## 〈2013年度竣工事例〉



千葉工業大学桑蓬寮(千葉県)



東京濾器(蘇州)有限公司(中国・蘇州市)

2013年度におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融政策などから、円安、株高が進み、企業収益の改善が見られ、また、個人消費におきましても回復基調で推移しました。

建設業界におきましても、遅れていた民間企業の設備投資に際しても動意が見え始めるなどの明るい材料がある一方で、施工人員の不足が現実的な課題となってまいりました。

このような環境下、当社グループは、中期3カ年経営計画最終年度にあたる2013年度におきまして、社会貢献と企業価値の向上という理念を堅持しつつ、グループ一丸となって顧客ニーズに応えるとともに、計画の完遂および次期3カ年に繋げる重要な年として業務に邁進いたしました。

受注活動におきましては、大きく変化し始めた受注環境を注視しつつ、従来より取り組んでまいりました質と量、すなわち採算性とボリュームとのバランスを見極めた受注活動を推進した結果、受注工事高は932億3千万円(前期比2.9%増)、完成工事高は920億3400万円(前期比7.6%増)となりました。

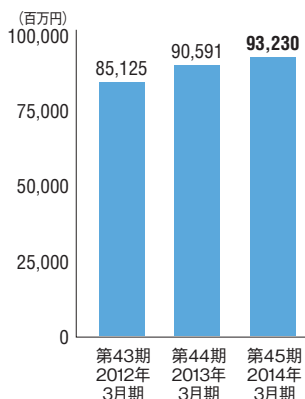
利益面におきましては、資材価格や施工人員の不足による労務費の高騰が顕在化してきましたが、グループ全体での徹底した原価低減活動による利益創出と固定費の削減努力の結果、完成工事総利益は83億6千800万円(前期比3.9%増)、営業利益は22億3千200万円(前期比0.1%増)、経常利益は25億1千300万円(前期比2.3%増)となりました。

また、特別利益として2億5千400万円、特別損失については2億2千800万円を計上した結果、当期純利益は13億3千900万円(前期比1.3%増)となりました。

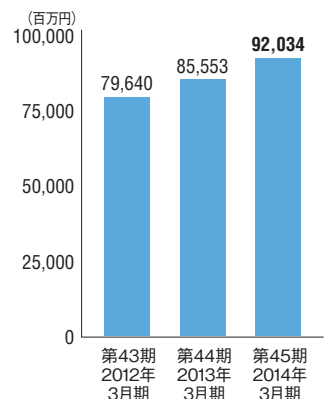
中期経営計画最終年度、2013年度の当社グループの業績は、受注工事高、完成工事高、繰越工事高、利益の四つの項目でいずれも前年実績を越えるという「増の四冠」を三期連続で達成することができました。

## 三期連続の「増の四冠」達成

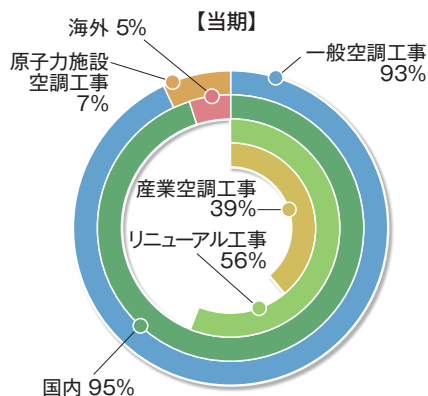
### 受注工事高



### 完成工事高



### 完成工事高内訳





連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	57,783	56,858
固定資産	27,219	23,511
有形固定資産	3,036	2,989
無形固定資産	306	332
投資その他の資産	23,876	20,188
資産合計	85,002	80,369

(単位:百万円)

	当期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	47,878	46,979
固定負債	3,089	2,277
負債合計	50,968	49,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本	28,606	27,773
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,887	6,887
利益剰余金	16,585	15,750
自己株式	△ 24	△ 24
その他の包括利益累計額	5,427	3,339
純資産合計	34,034	31,112
負債純資産合計	85,002	80,369

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

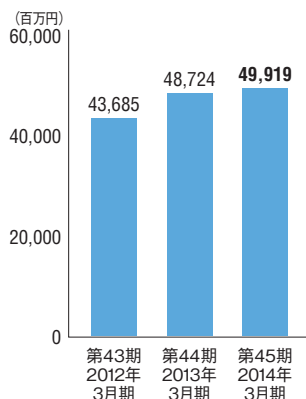
	当期 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
完成工事高	92,034	85,553
完成工事原価	83,666	77,497
完成工事総利益	8,368	8,056
販売費及び一般管理費	6,135	5,825
営業利益	2,232	2,230
営業外収益	336	256
営業外費用	55	29
経常利益	2,513	2,457
特別利益	254	8
特別損失	228	60
税金等調整前当期純利益	2,538	2,405
法人税、住民税及び事業税	979	551
法人税等調整額	219	531
少数株主損益調整前当期純利益	1,339	1,322
当期純利益	1,339	1,322

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

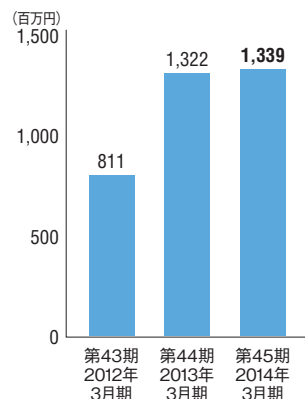
(単位:百万円)

	当期 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,690	△ 799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,133	△ 1,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 483	2,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	227	105
現金及び現金同等物の増減額	301	76
現金及び現金同等物の期首残高	5,790	5,714
現金及び現金同等物の期末残高	6,092	5,790

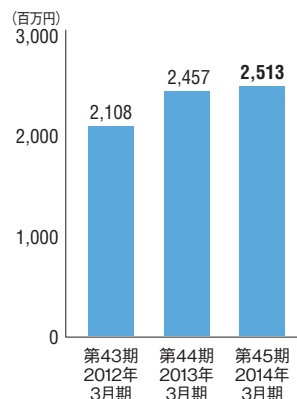
繰越工事高



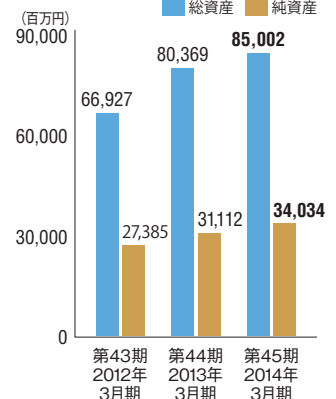
当期純利益



経常利益



総資産・純資産



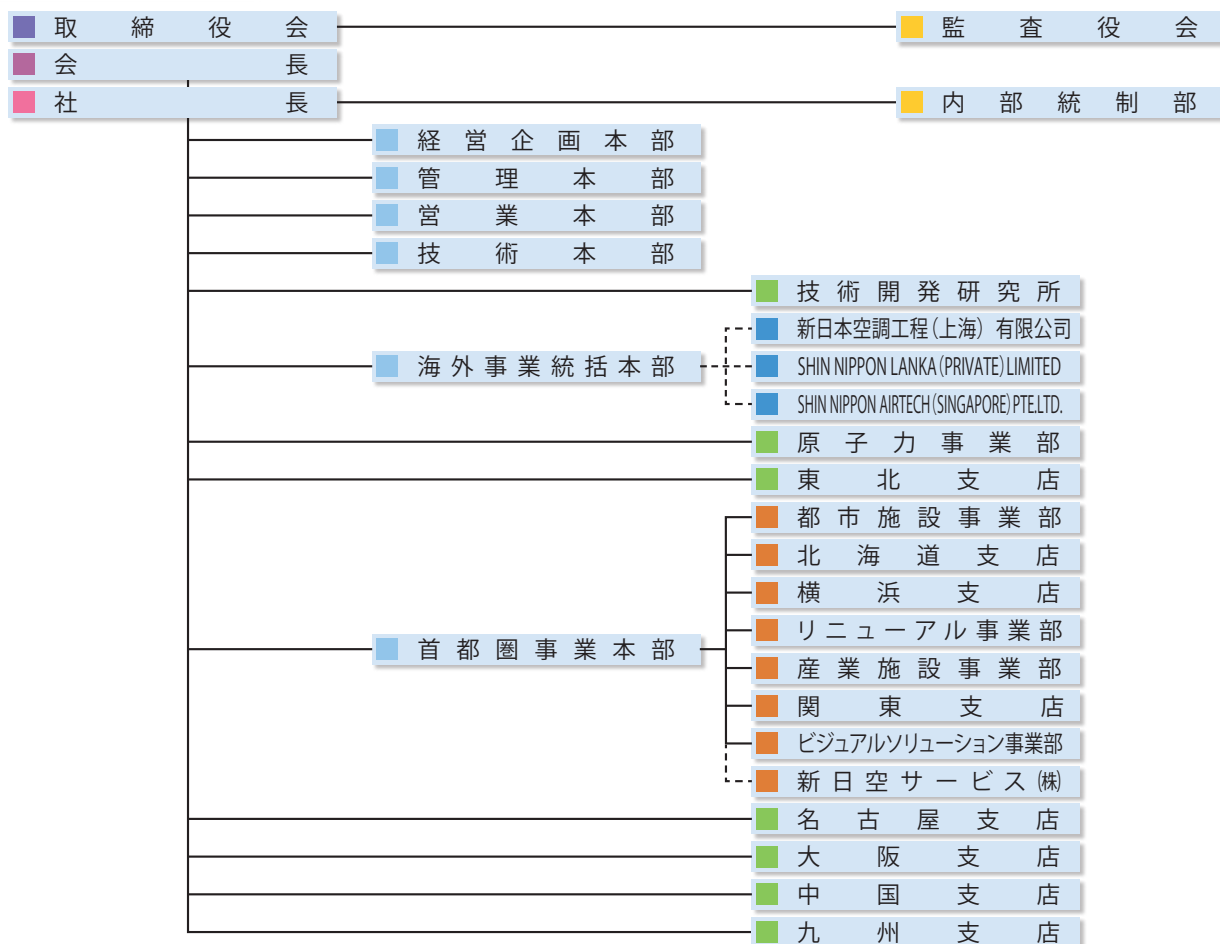


# 組織概要

ステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指し、一丸となって活動しております。

## 組織図

(2014年6月20日現在)



## 役員・執行役員

(2014年6月20日現在)

代表取締役会長	高橋 薫	常勤監査役	山田 勇夫	執行役員	和木 英人
代表取締役社長	夏井 博史	常勤監査役	壺岐尾 透	執行役員	満山 健
常務取締役 常務執行役員	宇佐美 威司	監査役	一宮 正寿	執行役員	岡野 登
取締役 上席執行役員	楠田 守雄	監査役	鶴野 隆一	執行役員	高橋 秀幸
取締役 上席執行役員	淵野 聡志	専務執行役員	塚原 光正	執行役員	伊藤 文隆
取締役 上席執行役員	赤松 敬一	専務執行役員	片山 勝久	執行役員	本多 豊
取締役 上席執行役員	大宮 祥光	常務執行役員	石井 直樹	執行役員	松浦 正志
		常務執行役員	田町 賢一	執行役員	遠藤 清志
		上席執行役員	金石 正博	執行役員	増沢 吾朗
		上席執行役員	下元 智史	執行役員	伊藤 雅基
		上席執行役員	三橋 渡	執行役員	中曾根 寛
				執行役員	浅岡 克好



## 事業所所在地

■ 本社	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2700 FAX 03-3639-2732
■ 内部統制部		TEL 03-3639-2705 FAX 03-3639-2735
■ 経営企画本部		TEL 03-3639-2701 FAX 03-3639-2734
■ 管理本部		TEL 03-3639-2700 FAX 03-3639-2732
■ 営業本部		TEL 03-3639-2720 FAX 03-3639-2750
■ 技術本部		TEL 03-3639-2702 FAX 03-3639-2736
■ 技術開発研究所	〒 391-0013 長野県茅野市宮川7033-182	TEL 0266-73-9611 FAX 0266-73-9615
■ 海外事業統括本部	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2704 FAX 03-3639-2738
■ 原子力事業部	〒 235-0036 神奈川県横浜市磯子区中原1-1-34(工学センター)	TEL 045-755-2221 FAX 045-755-2214
■ 六ヶ所総合事務所	〒 039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附1-57(尾駮レイクタウン内)	TEL 0175-71-0212 FAX 0175-71-1319
■ 東通出張所	〒 039-4224 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34-4	TEL 0175-45-5501 FAX 0175-45-5505
■ いわき事務所	〒 970-0101 福島県いわき市平下神谷字下川原1-47	TEL 0246-34-0742 FAX 0246-34-0747
■ 福島事務所	〒 979-0622 福島県双葉郡富岡町大字毛萱字前川原232-16(東電福島第二原子力発電所内)	TEL 0240-25-4611 FAX 0240-26-0015
■ 東海村営業所	〒 319-1112 茨城県那珂郡東海村村松250	TEL 029-282-2177 FAX 029-282-2926
■ 女川出張所	〒 986-2221 宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田1(女川原子力保修センター内)	TEL 0225-53-2598 FAX 0225-50-1125
■ 柏崎刈羽出張所	〒 945-0016 新潟県柏崎市青山町3-1(第二企業センター合同棟)	TEL 0257-20-3636 FAX 0257-45-2213
■ 敦賀出張所	〒 914-0842 福井県敦賀市明神町1(原電敦賀発電所内)	TEL 0770-26-1140 FAX 0770-26-1606
■ 浜岡出張所	〒 437-1695 静岡県御前崎市佐倉5561(中部電力浜岡原子力発電所内)	TEL 0537-86-3126 FAX 0537-63-0087
■ 北海道支店	〒 060-0001 北海道札幌市中央区北一条西5-2-9(北一条三井ビル)	TEL 011-221-3031 FAX 011-221-8653
■ 東北支店	〒 980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-7-1(電力ビル本館)	TEL 022-221-7551 FAX 022-214-2603
■ 青森営業所	〒 039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附1-57(尾駮レイクタウン内)	TEL 0175-72-2055 FAX 0175-71-1319
■ 岩手営業所	〒 024-0102 岩手県北上市北工業団地5-11	TEL 0197-66-2802 FAX 0197-66-2803
■ 秋田営業所	〒 010-0951 秋田県秋田市山王2-1-54(三交ビル)	TEL 018-862-0717 FAX 018-865-6140
■ 山形庄内営業所	〒 998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎2-26-38	TEL 0234-23-4620 FAX 0234-23-4612
■ 郡山営業所	〒 963-8025 福島県郡山市桑野2-20-17(ジネックスビル)	TEL 024-921-4964 FAX 024-921-4965
■ 首都圏事業本部	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2703 FAX 03-3639-2737
■ 都市施設事業部	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2740 FAX 03-3639-2745
■ 西東京営業所	〒 190-0012 東京都立川市曙町2-36-2(ファーレ立川センタースクエア7階)	TEL 042-540-2907 FAX 042-525-2908
■ 甲府営業所	〒 400-0824 山梨県甲府市蓬沢町945-1	TEL 055-222-1811 FAX 055-222-1866
■ 長野営業所	〒 391-0013 長野県茅野市宮川7033-182	TEL 0266-75-2742 FAX 0266-75-2741
■ 新潟営業所	〒 951-8068 新潟県新潟市中央区上大川前通5-84(電力ビル新潟)	TEL 025-378-0475 FAX 025-378-0476
■ リニューアル事業部	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2707 FAX 03-3639-2760
■ 羽田空港営業所	〒 144-0041 東京都大田区羽田空港1-7-1(空港施設第二総合ビル)	TEL 03-3747-0015 FAX 03-3747-0017
■ 産業施設事業部	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2730 FAX 03-3639-2743
■ 八王子出張所	〒 191-0065 東京都日野市旭ヶ丘6-12-11(エクセレントビル2階)	TEL 042-582-3733 FAX 042-582-3734
■ ビジュアルソリューション事業部	〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)	TEL 03-3639-2206 FAX 03-3639-2377
■ 関東支店	〒 260-0013 千葉県千葉市中央区中央1-11-1(千葉中央ツインビル1号館)	TEL 043-221-8311 FAX 043-221-8314
■ 茨城営業所	〒 319-1112 茨城県那珂郡東海村村松250	TEL 029-306-2430 FAX 029-306-2431
■ 宇都宮営業所	〒 321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷1-9-15(フローラビル)	TEL 028-633-8700 FAX 028-637-9590
■ 埼玉営業所	〒 330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-2(勝俣第1ビル)	TEL 048-645-6201 FAX 048-647-5808
■ 横浜支店	〒 231-0013 神奈川県横浜市中央区住吉町4-45-1(横浜新聞内ビル)	TEL 045-651-4135 FAX 045-651-4136
■ 川崎出張所	〒 210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島6-10(かわさきファズ)	TEL 044-287-2456 FAX 044-287-2457
■ 名古屋支店	〒 450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30(名古屋三井ビル本館6階)	TEL 052-582-7531 FAX 052-581-7934
■ 北陸総合営業所	〒 920-0919 石川県金沢市南町5-20(中屋三井ビル)	TEL 076-221-5924 FAX 076-221-5930
■ 福井営業所	〒 910-0005 福井県福井市大手3-2-1(日本生命福井大手ビル)	TEL 0776-21-7258 FAX 0776-26-9943
■ 静岡営業所	〒 420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7(三井生命静岡駅前ビル)	TEL 054-255-6411 FAX 054-255-0659
■ 三河営業所	〒 448-0037 愛知県刈谷市高倉町6-709	TEL 0566-24-4050 FAX 0566-24-5031
■ 三重営業所	〒 510-8033 三重県四日市市下さざらい町13-21	TEL 059-366-1210 FAX 059-366-1209
■ 大阪支店	〒 550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀2-2-4(土佐堀ダイビル)	TEL 06-6445-6331 FAX 06-6445-6373
■ 京滋総合営業所	〒 600-8008 京都府京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8(京都三井ビル)	TEL 075-256-3732 FAX 075-256-5524
■ 神戸営業所	〒 650-0037 兵庫県神戸市中央区明石町32(明海ビル)	TEL 078-332-1125 FAX 078-332-1486
■ 四国営業所	〒 760-0017 香川県高松市番町1-6-1(住友生命高松ビル)	TEL 087-821-1090 FAX 087-821-1086
■ 中国支店	〒 730-0051 広島県広島市中区大手町2-7-10(広島三井ビルディング)	TEL 082-247-3551 FAX 082-247-3549
■ 岡山営業所	〒 700-0903 岡山県岡山市北区幸町8-29(三井生命岡山ビル10階)	TEL 086-232-4469 FAX 086-231-8194
■ 山陰営業所	〒 683-0035 鳥取県米子市目久美町25-9(ベルトピア米子B202)	TEL 0859-32-2040 FAX 0859-32-2041
■ 山口出張所	〒 754-0002 山口県山口市小郡下郷860-6(アクティブS 107)	TEL 083-973-2139 FAX 083-973-2199
■ 九州支店	〒 812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町10-1(博多三井ビル)	TEL 092-262-7751 FAX 092-262-6661
■ 大分営業所	〒 870-0125 大分県大分市松岡4242-3	TEL 097-520-1526 FAX 097-520-2494
■ 鹿児島営業所	〒 892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町18-8(三井生命鹿児島ビル)	TEL 099-223-1215 FAX 099-224-7804
■ 沖縄営業所	〒 900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-15-18(ライオンズマンション久茂地)	TEL 098-868-0013 FAX 098-868-0596
■ 新日空サービス株式会社	〒 103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6(ワカ末ビル)	TEL 03-5200-3940 FAX 03-5200-3935
■ 新日本空調工程(上海)有限公司	中華人民共和国上海市江場三路301号2階	TEL 86-21-51060068 FAX 86-21-51060063
■ SHIN NIPPON LANKA (PRIVATE) LIMITED	309/1 Colombo Road, Welisara, Sri Lanka	TEL 94-11-200-5300 FAX 94-11-223-6599
■ SHIN NIPPON AIRTECH (SINGAPORE) PTE.LTD.	315 Outram Road, #09-06, Tan Boon Liat Building, Singapore 169074	TEL 65-6227-2300 FAX 65-6227-3122
■ SHIN NIPPON AIRTECH (SINGAPORE) PTE. LTD. MYANMAR BRANCH	No.1, Saw Hla Baw Street, Corner of Saw Hla Baw Mar Lar Street, Ward No (15), Baw Htaung, Yankin Township, Yangon, Myanmar	TEL 95-1-401-354 FAX 95-1-401-354

# 新日本空調の歴史

新日本空調は超高層ビルの空調や地域冷暖房を日本で最初に手がけ、またクリーンルームのパイオニアとして重要な役割を果たしてきました。新日本空調の歴史は20世紀の始めに幕を開けた米国キャリア社に遡ります。「技術のキャリア」と呼ばれ、世界を席卷した高い技術力とパイオニア精神を受け継ぎ、創業以来80年余りにわたって実績とノウハウを積み重ねてきました。その成果が「新日本空調の歴史」ひとつひとつに刻まれています。



満鉄特急あじあ号



横浜国際総合競技場(日産スタジアム)

満鉄特急「あじあ号」に  
世界初の全列車空調施工

関釜連絡船「興安丸」に  
世界初の全船空調施工

日本原子力研究所(東海村)に  
我が国初の原子炉空調施工

第1回空衛学会賞受賞  
(東京文化会館)

我が国初の超高層ビル  
「霞が関ビル」に空調施工

新宿新都心に  
大規模地域冷暖房施工

1930  
昭和5年

米国キャリアコーポレーションと提携  
「東洋キャリア工業株式会社」設立

1935  
昭和10年

1936  
昭和11年



霞が関ビル

1957  
昭和32年

1963  
昭和38年

1968  
昭和43年

1969  
昭和44年

東洋キャリア工業株式会社の工事部門を分離独立し  
新日本空調株式会社設立  
東京支店・大阪支店・名古屋支店開設

1971  
昭和46年

1974  
昭和49年

九州支店・中国支店・  
北海道支店設置

1983  
昭和58年

神奈川県横浜市に  
「工学センター」開設

1984  
昭和59年

東北支店設置

1989  
平成元年

横浜支店設置

1990  
平成2年

東京証券取引所市場2部に上場

1991  
平成3年

メンテナンスサービスを専門とした子会社  
「新日空サービス株式会社」を設立  
東関東支店(現 関東支店)設置

工学センター







沖縄美ら海水族館  
(写真提供：海洋公園・沖縄美ら海水族館)

東京ミッドタウン

「第50回空衛学会賞(論文賞)受賞  
熱源システムの特リングによる  
ポンプ可変速制御方法」

シンガポールにおける  
スカイラインの象徴である  
「マリナ・ベイ・サンズ」  
(シンガポール)の空調施工

2014  
平成26年

ミャンマー連邦共和国にシンガポール現地法人の支店  
「MYANMAR BRANCH」を開設

2012  
平成24年

2010  
平成22年

シンガポール共和国に現地法人  
「SHIN NIPPON AIRTECH  
(SINGAPORE) PTE. LTD」を設立

2009  
平成21年

労働安全衛生マネジメントシステム  
OHSAS18001:2007年版を認証取得

2008  
平成20年

スリランカ民主主義共和国に  
現地法人「SHIN NIPPON LANKA  
(PRIVATE) LIMITED」を設立

2007  
平成19年

都心型複合施設  
「東京ミッドタウン」の  
空調施工

2003  
平成15年

中華人民共和国(上海市)に  
現地法人「新日本空調工程(上海)有限公司」を設立

2002  
平成14年

世界最大級の水族館である  
「沖縄美ら海水族館」の  
空調・衛生施工

2001  
平成13年

本社および国内全事業部門で  
ISO14001を認証取得

2000  
平成12年

国内全店でISO9001を認証取得

1998  
平成10年

世界最高レベルの「微粒子および  
気流可視化システム」を開発

1997  
平成9年

日本最大規模の観客収容能力を誇る  
屋外多目的競技場である  
「横浜国際総合競技場」の空調施工

1993  
平成5年

東京証券取引所市場1部に上場  
長野県茅野市に  
「技術研究所」「茅野研修所」開設



技術研究所・茅野研修所

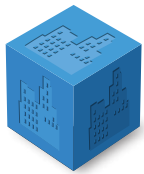
マリナ・ベイ・サンズ(シンガポール)





# 企業活動

新日本空調グループは、透明性の高い企業活動を展開することで  
「企業価値の向上」を図っています。



TOPICS

## 特集 最新施工事例

培ってきた高度な技術と、豊かな経験を活かした、最新事例の数々をご紹介します。

### 日本橋室町東地区再開発新築工事 & 『EnergyQuest』(エナジークエスト) 導入 都市施設事業部 / リニューアル事業部

#### 最新技術で、 日本橋の歴史に寄り添う

『日本橋室町東地区開発計画』は、日本橋の伝統を踏襲しつつ、既存の街と連携を目指した開発計画です。三井不動産株式会社の『残しながら、蘇らせながら、創っていく』という基本理念に基づき計画されたプロジェクトです。



室町東三井ビルディング



室町古河三井ビルディング



室町ちばざん三井ビルディング

#### 1. 建物概要・用途

##### ■ 室町東三井ビルディング (2010年10月竣工) (商業施設名: COREDO 室町)

概要 延床面積: 41,000㎡、階数: 地下4階、地上22階  
地下4階に3棟のエネルギーセンターを設置  
用途 商業施設、事務所、ホール  
2014年2月: EnergyQuest 導入

##### ■ 室町古河三井ビルディング (2014年1月竣工) (商業施設名: COREDO 室町2)

概要 延床面積: 63,000㎡、階数: 地下4階、地上22階  
用途 商業施設、シネマコンプレックス、事務所、住宅

##### ■ 室町ちばざん三井ビルディング (2014年1月竣工) (商業施設名: COREDO 室町3)

概要 延床面積: 29,120㎡、階数: 地下4階、地上17階  
用途 商業施設、事務所

#### 2. 設備概要

##### ■ 熱源設備

室町東三井ビルディングにエネルギーセンターを設置しています。熱源機器の合計容量を下記に示します。この内( )が増設容量です。  
ターボ冷凍機: 1,440USRT (360RT×1台)  
蒸気吸収冷凍機: 1,000USRT (500RT×2台)  
水蓄熱槽: 2,500㎡  
蒸気ボイラ: 12ton/h (2ton/h×3台)

各建物の熱源は受入設備を設置、室町東三井ビルディングより冷水・蒸気が供給され、冷水は熱交換器を介して建屋に供給しています。また、蒸気は空調機(加熱・加湿)システムに直接供給し、ファンコイルシステムには熱交換器を介し、温水として供給しています。





ターボ冷凍機



蒸気吸収冷凍機

### ■空調設備(3棟共通)

商業施設エリア:外調機+ファンコイルユニット

事務所エリア:内周部 空調機/外周部 パッケージ空調機

シネコンフロアはTOHOシネマズ日本橋が入り、シネコン専用中央監視設備を設けています。住宅フロアは賃貸住宅であり、住戸内空調換気設備は耐湿型全熱交換機+天井カセット型パッケージ空調機を設置しています。

### 3.施工技術紹介

室町3棟共通でオフィス階の空調機廻り配管のユニット化を図りました。空調機メーカーとタイアップしメーカー工場にて空調機本体に配管を組付けました。

また、ダクト工事ではZリブダクトの採用、ゼロスパンダクト、排煙ダクトのハゼ仕様など、最新の工法も採用しました。現場施工管理を工夫した点では、大突貫現場でもあったため、ピーク時には全体朝礼を7:00、7:30、8:00の3回に区分し作業員のタイムスケジュールを分散、移動し、効率化を図りました。さらに竣工半年前からは、昼夜の2交代制で現場を管理し、現場内での錯綜作業を回避しました。



空調機廻りユニット配管

### 4.熱源最適制御システム『EnergyQuest』のご紹介

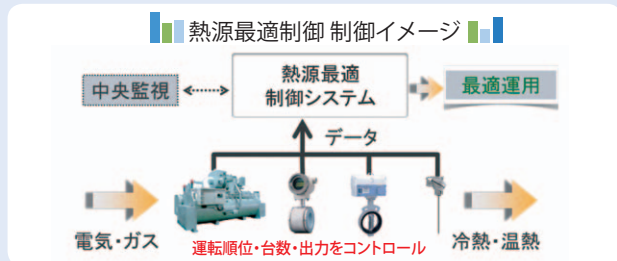
熱源最適制御システムは、熱源機器が最も効率の良い運転となるように制御するシステムです。

一般的な熱源制御はあらかじめ決められた順に熱源機器を運転し一定の制御を行います。熱源最適制御システム『EnergyQuest』は運転順位・運転台数・各熱源機器への出力配分を、熱源システムの運転が最高効率となるようにコントロールします。

熱負荷や外気条件などは季節や時刻ごとに多様に変化しますが、『EnergyQuest』では膨大な数の組み合わせパターンの中から、熱源システムの運用が最高効率となる1パターンを、その時その時の条件に合わせて決定し、制御を実行します。

また、『EnergyQuest』は、「省エネ」だけでなく「最適の対象」を選択することができ、「省エネモード」のほかに、電力消費量を削減することができる「省電力モード」なども搭載しています。このモード切り替えによって、「省エネ」だけでなく電気・ガスのベストミックス熱源の最適運用や節電要求にも容易に対応することが可能となります。

室町東三井ビルディングでは初号機の導入を決定して戴き、試運転期間を経て、2014年4月から本格的な運用を開始しております。今後は運用結果をもとに効果検証を実施していく予定です。



### Voice スタッフから



室町古河三井ビルディング  
所長 **畔地 哲男**

2-3街区は住宅、オフィス、シネコン、商業施設を備えた稀な複合建物となっており、施工性の難しさを感じさせられた現場でしたが、スタッフ一丸となって竣工することができた誇れる建物です。



室町ちばさん三井ビルディング  
所長 **谷井 宏成**

1-5街区は中央通りに面し、日本橋の中心と言うこともあり、搬入等にかかり気を遣いました。商業施設は竣工間際まで大変でしたが、3現場のスタッフと一緒に工事ができ、感慨深い建物です。



熱源増設工事現場  
所長 **小西 竜正**

熱源機器搬入・試運転調整には苦労しましたが、ビル運用に支障なく竣工を迎えられたことや、他の事業部メンバーと一緒に工事ができたことが良い思い出です。



EnergyQuest  
担当 **知念 盛行**

『EnergyQuest』の初導入現場で課題は少なくありませんでしたが、施主である三井不動産様のご協力もあり、社内では事業部の枠を超えたチームSNKの一丸体制で導入を実現できました。



## デンソー安城評価棟 新築設備工事 名古屋支店

独自工法を投入し、  
超短工期、高品質、無災害で竣工



### 1.建物用途

本建物は世界的な自動車部品メーカーの株式会社デンソーが、ハイブリッド車用電気部品に代表されるインバータなどのパワーエレクトロニクス製品の開発体制を強化するため、これらの製品開発及び評価を行う施設です。

### 2.建物概要

延床面積：24,065㎡  
階数：地上4階  
構造：S造  
竣工年月：2013年12月

### 3.設備概要

空調設備：空冷モジュールチラー171KW×28台＋大型ファンコイルユニット(恒温室及び一般室はパッケージ型空調機を利用)  
換気設備：局所排気(油系、酸系、高温系、一般系)  
消火設備：屋内外消火設備、泡消火設備  
排水設備：給水、排水(汚水・雑排水)  
ユーティリティ設備：装置用冷却水(3,000冷却トン)、  
圧縮空気(オイルフリースクリー式圧縮機)など  
電気設備：バスダクト以降の電源工事(1次、2次)  
省エネ設備：煙突効果を利用した自然換気システム

### 4.施工技術紹介、安全

#### ■スタンション配管ユニット工法

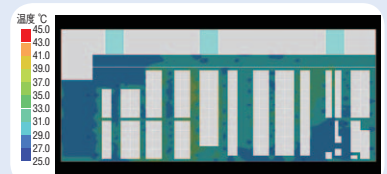
工期短縮、コスト削減を狙い300mの配管4系統のユニット施工を行いました。

#### ■油水分離槽の設置

油分を含む排水を分離するため、建築工事が設置する水槽とは別に油を検水するタンク及び浮遊する油を除去するタンクを設けました。制御機器が特殊(pH、UV、導電率、油膜)及び雨水集水槽と併用するため、建築工事の雨水計画を考慮し水槽容量(排水量)を算出しました。水質を分析し、放流可能か、あるいは回収処理が必要かを判断するため、非常にシビアな性能保証が求められました。

#### ■温度シミュレーションの実施

夏期、冬期のシミュレーションを実施し低速吹出口(デンソー製品)を設置しました。

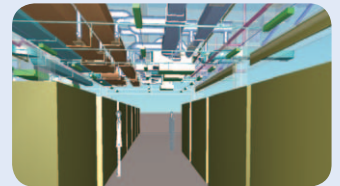


作業エリア温度シミュレーション(平面図)

#### ■3次元CADの活用

短工期及び日々変わる顧客の要望に応えるため、3次元CADを用いて「見える化」の強化も行いました。関係部署が多いためビジュアルで提案することは効果的でした。

天井を下げることでダクト、配管が簡素な納まりになることを確認しました。



### 5.安全品質確保の取組み

安全、品質を最優先に考慮し、現場作業の省力化を図りました。プレハブ、ユニット化を全面的に採用し、現場での作業を軽減させ、安全、品質を向上させました。

また、お客様へSNKの安全に対する取組みをプレゼンし、安全宣言を実施しました。宣言した項目を確実に実行し、超短工期の中で無事故無災害を達成し、高い評価を載くことができました。

#### Voice スタッフから



所長  
大矢 晃久

デンソーの中でも重要拠点となる建物であり、デンソー、SNKとも重要案件として取り扱われ、失敗の許されないプレッシャーの中、チームSNKで短工期、高品質、無災害で竣工することができました。



# 京都リサーチパーク西地区 熱源機器・CGS更新、増設工事 大阪支店

異機種ガスエンジンの連携に成功。  
先進的なエネルギー有効活用を実現

## 1.建物用途

京都リサーチパークは、現在340社、約4,000名が入居する産学公連携や新産業の創出拠点です。オフィスやラボ空間に加え、企業支援サービスや産学公連携活動を展開することで地域産業の活性化に貢献しています。

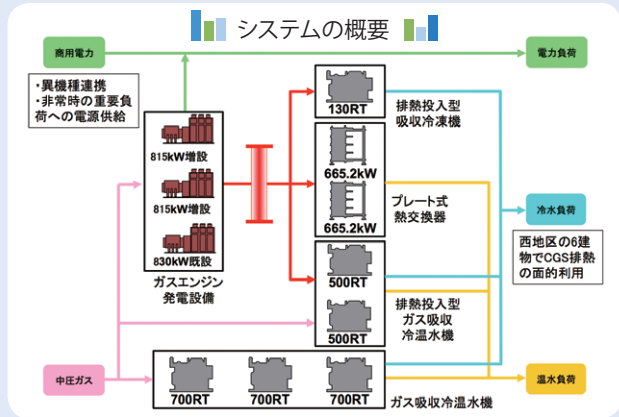
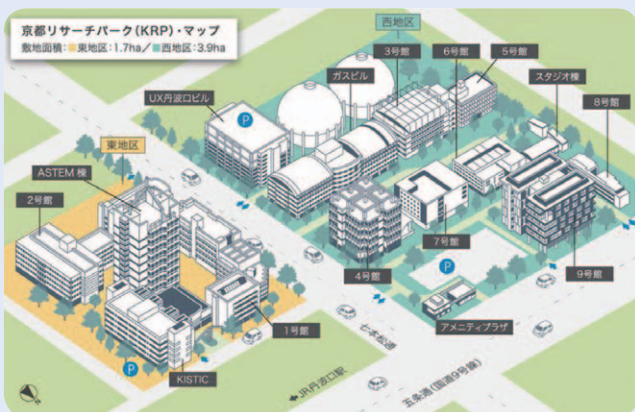
## 2.建物概要

KRP東地区:敷地面積1.7ha  
入居施設:京都府産業支援センター、京都高度技術研究所、KISTIC、KRP1~2号館  
KRP西地区:敷地面積3.9ha  
入居施設:KRPガスビル、KRP3~9号館、京都市産業技術研究所など  
**熱供給施設建物**  
延床面積:23,122㎡  
階数:地上6階、地下2階  
構造:SRC造  
竣工年月:1992年5月

## 3.設備概要

熱源機器設備:排熱投入型ガス吸収冷温水機500RT×2台、  
ガス吸収冷温水機700RT×3台  
CGS設備:ガスエンジン発電機830kW(既設)  
ガスエンジン発電機815kW×2台(新設)  
更新年月:2013年3月

京都リサーチパーク全体図



## 4.施工技術紹介

### ■CGS異機種連携と非常時の電源供給

既設のストイキ式ガスエンジンと今回新設の希薄燃焼ガスエンジンとの異機種連携、自動並列運転を実現した先導的な事例です。非常時のデータセンター、研究施設など重要施設へ電源供給を行っています。

### ■エネルギーの面的利用

CGS排熱はKRP西地区内の6つの建物に冷温水を供給している熱源プラントの排熱投入型ガス吸収冷温水機で有効利用し、エネルギーの面的利用を行っています。

## 5.平成25年度コージェネ大賞

(一財)コージェネレーション・エネルギー高度利用センターから、異機種連携を実現した先導的な事例であることを評価され、優秀賞を受賞しました。

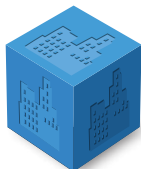


## Voice | スタッフから



所長  
北 広久

プラントを運用しながらの熱源改修工事で、関係各位との綿密な作業計画の検討、打合わせ調整により無災害で工事が完了しました。施工後の運用においてもエネルギーが有効利用されていることが確認できました。



# 新日本空調グループのCSR



新日本空調は2007年11月にCSR委員会を発足して以来、CSR活動の課題や具体的な展開について同委員会で繰り返し協議しました。新日本空調グループはステークホルダー（顧客、株主、職員、協力会社等）の皆様から信頼される企業を目指し、経済・環境・社会の3側面でバランスの取れた経営を実践してまいります。



## CSRガイドライン

### 1. 基本姿勢と透明性の高い企業活動

「企業理念」「経営基本方針」の具現化を通じて“社会的に信頼される企業”の実現を目指し、コーポレートガバナンス体制を強化するとともに、透明性の高い企業活動を展開します。

### 2. コンプライアンス（法令順守）の推進・徹底

全ての役職員が「企業行動憲章」を順守し、“話す勇氣と聴く姿勢”をスローガンに、高い倫理観と責任感をもって行動し、社会の発展に貢献します。

### 3. 安全・品質・環境マネジメントの強化

信頼性の高い設備の供給によって「顧客満足度の向上」を図るべく、安全衛生・施工・品質・環境保全の管理体制を強化するとともに、「省エネ」と「快適性」を両立させる技術の研究・開発を推進し、室内環境と地球環境の改善に貢献します。

### 4. ステークホルダーとの対話促進

顧客、株主・投資家、職員、協力会社・取引先、行政、地域社会、マスメディア、アナリストなどとの対話・協働を実践し、双方向コミュニケーションに努めます。

### 5. 人権尊重・人材育成の推進

人権を尊重し、雇用の多様化・人材育成に取り組むとともに、職員が健康で社会の一員として活躍できるよう、職場環境の改善に努めます。

### 6. 社会貢献活動の推進

「良き企業市民」として、芸術文化、スポーツ、教育・福祉などの振興を継続的に支援します。また、職員のボランティア活動への参加を支援します。

## 事業継続計画（BCP）への取り組み

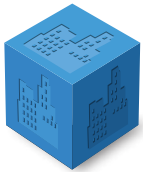
当社では委員会を定期的に開催し、より現状に即した事業継続計画を策定しています。（現行は2014年4月改訂版）

毎年、『防災の日』（9月1日）に合わせて全店訓練を実施しております。2013年度の訓練では、2日間にかけて、地震発生直後を想定した「全役職員1,106名の安否確認」、「施工現場、顧客、協力会社の被

災状況の確認」、「自衛消防隊の実地」の名訓練と、被災から数日経過後を想定した「テレビ会議システムを用いた、被災地の復旧支援および事業継続のための全店協議」の訓練を行いました。

今後も様々な危機を想定した訓練を行うとともに、BCPの充実を図り、ステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指します。





Basic stance and transparency

# コーポレートガバナンス



新日本空調グループは、企業価値の向上を実現するために、監査役会制度、執行役員制度を導入し、常に経営の健全性の維持・強化を図るとともに、経営責任の明確化や業務執行の迅速化などを進めています。

## コーポレートガバナンスの状況

当社は企業統治の体制として、監査役会制度を採用しています。

監査役会は、3名の社外監査役を含む4名で構成され、各監査役は取締役会等の重要な会議に出席し、必要に応じて意見を述べるほか、監査役会が定めた監査の方針に従い、各部門に往査のうえ業務および財産の状況を調査し、公正かつ的確に監査を実施しています。

取締役会は経営上の重要な事項を審議・決定するとともに、取締役の職務執行が適正に行われているかを監督しています。また、取締役会に諮るべき事項および重要な業務執行については、経営会議において協議しています。なお、執行役員制度を導入し、経営責任の明確化および業務執行の迅速化を図っています。

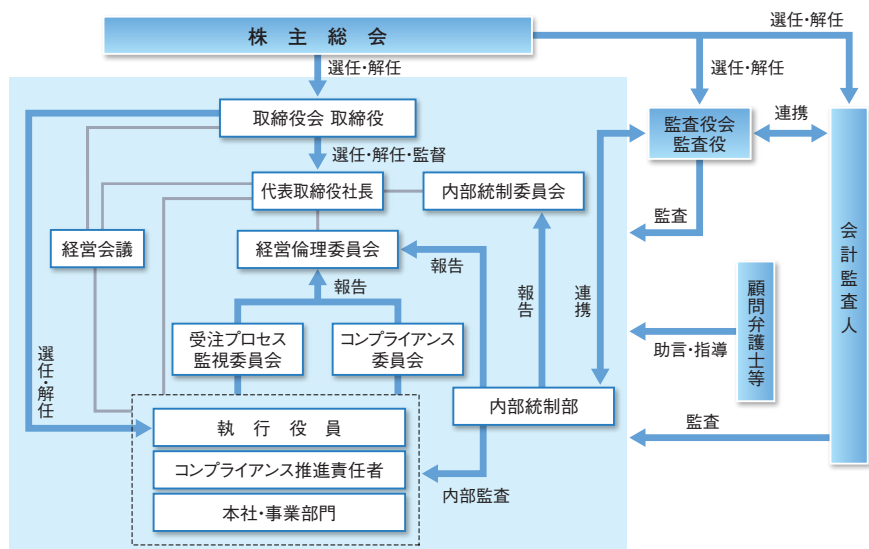
新日本空調グループの内部監査を行う内部統制部は社長直轄としており、監査役との業務連絡会を含め、十分な連携を図りながら、定期的に内部監査を実施し、運営管理状況と適合性を評価し、社長に報告しています。

なお、当社は有限責任監査法人トー

マツより、会計監査を受けています。監査役と会計監査人は、意見交換を密に行っているほか、四半期および期末には会計監査人から監査役へ監査の総合的かつ詳細な報告を受け、連携を強めています。

さらに、経営倫理委員会と受注プロセス監視委員会を新たに設置し、内部統制委員会、コンプライアンス委員会と合わせてガバナンスの一層の強化に努めてまいります。

コーポレートガバナンス体制図

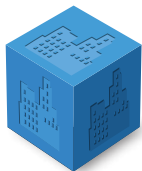


## 当社BCPの方針

1. 当社の役職員とその家族の安否確認、安全確保を最優先する。
2. 当社の財産・資産の保全を図る。
3. 可能な限り迅速に情報ネットワークを回復し、事業再開体制を構築する。
4. 顧客対応(被災状況確認)とその事業再開支援を行う。
5. 地域社会と連携を図り、企業の社会的責任を全うする。



全店協議の様子



# コンプライアンス



新日本空調グループは、コンプライアンスをCSRのベースと位置づけ、体制の強化に取り組んでいます。役職員一人ひとりが法令の順守だけでなく、高い倫理観と責任感をもって行動することが、最重要課題のひとつであると考えています。

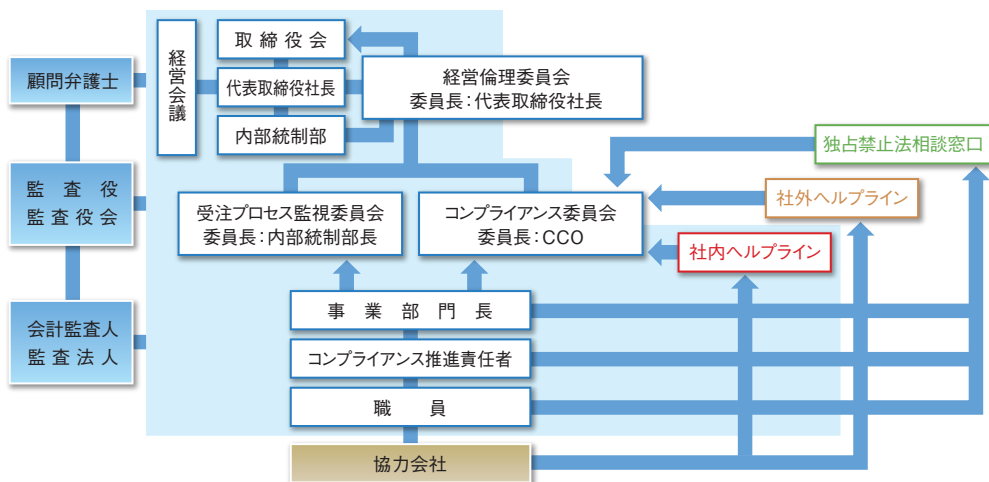
## コンプライアンスの徹底のための施策

当社はかねてより法令順守や公正な競争の推進等を「企業理念」、「企業行動憲章」に掲げ、役職員の指導、教育を行ってまいりました。

今後もコンプライアンスの徹底およびガバナンスの強化を図るため、下記の施策を確実に実行してまいります。

1. 社長より“当社はコンプライアンスに違反した仕事のやり方、利益の追求は絶対に行わない”とする「コンプライアンス徹底宣言」の表明
2. 上記宣言の確実な遂行を図るため、全役職員による「コンプライアンス宣言書」の提出
3. 会社経営に関わるリスクに対応するため、社長を委員長とし、社外有識者を含めた経営倫理委員会を設置
4. 受注プロセスの適切性を評価・監督するため、内部統制部長を委員長とした受注プロセス監視委員会を設置
5. 内部統制部による業務監査の強化
6. 社外有識者による独占禁止法相談窓口の設置
7. 独占禁止法順守マニュアルの整備と教育の実施
8. 適切な人事ローテーションと厳格な社内処分の実施

コンプライアンス体制図



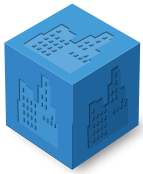
## グループディスカッションおよびコンプライアンスアンケート

コンプライアンス推進の取組みとして、2013年度はグループディスカッションとコンプライアンスアンケートを実施しました。

グループディスカッションは職員の「気付き」のきっかけとしてもらうもので、主体的意識と当事者意識の

醸成を図ってまいります。またコンプライアンスアンケートでは、さまざまな意見が寄せられましたので、今後のコンプライアンス推進および職場環境の改善に役立ててまいります。





Basic stance and transparency

# 内部統制の取組み



新日本空調グループは、内部統制システムの基本方針を定め、職務の執行が法令・定款に適合するための適切且つ効率的な体制の確保を図っています。また、財務諸表の信頼性を確保するために、虚偽記載に繋がるリスクへの対応に努めています。

## 内部統制システムの基本方針

当社は、会社法に基づく「業務の適正を確保するために必要な体制」の基本方針を取締役会で定め、職務の執行が法令・定款に適合するための、適切かつ効率的な体制の確保を図っています。

## 財務報告に係る内部統制

金融商品取引法に基づく「財務報告に係る内部統制」の有効性については、代表取締役社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、財務報告の重要な事項に虚偽記載が発生しないための社内体制を構築、推進しています。2013年度の整備・運用状況は、内部統制部による評価の結果、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断しており、監査法人の監査結果においても、その有効性が確認されています。

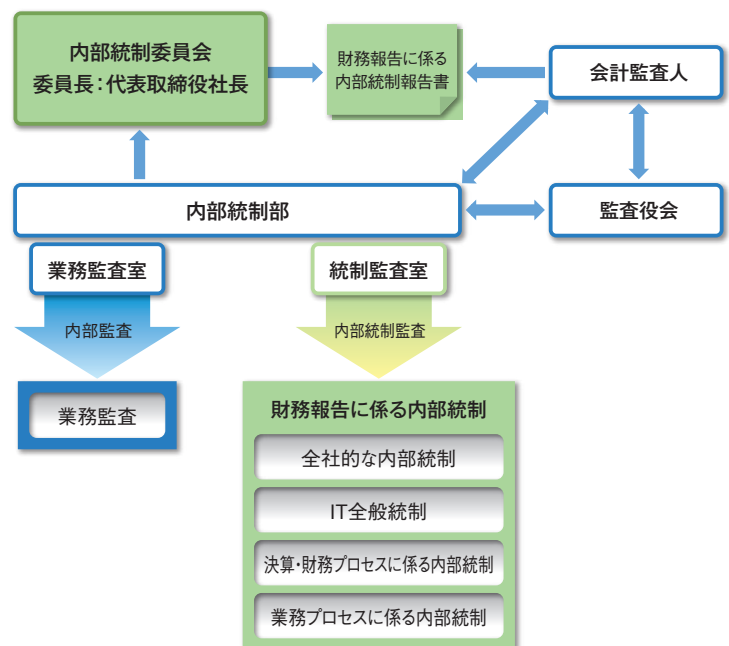
## 2014年度内部統制部運用計画

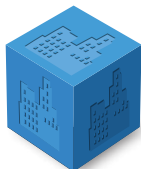
当社は内部統制部において、一般的な内部監査と財務報告に係る内部統制の評価をそれぞれ業務監査室と統制監査室が実施しています。それぞれの独立性を確保しつつも重複する部分については排除を行い、監査役会、監査法人と緊密に連携を強化し、経営に貢献できる監査を実施いたします。

また、独占禁止法順守を重点監査項目に加え、内部統制部による業務監査において監督強化に努めてまいります。

1. 取締役および使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当社企業集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する体制および当該使用人の取締役からの独立性に関する体制
7. 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制
8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
9. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその整備状況

財務報告に係る内部統制評価体制図





# セグメント紹介



オフィス・ショッピングセンター・病院・ホテル等の暮らしに身近な環境づくりから、半導体工場・製薬工場・研究施設等のクリーンルーム・恒温恒湿室といった産業空間の創造。地域冷暖房等によるエネルギー供給。そしてそれら設備のメンテナンスまで。空調を核とした総合エンジニアリングを展開しています。

## オフィス、データセンター、商業・文化施設

Office, data center, commercial facility and cultural facility

# 人に優しく、 心がはずむ環境を提案

オフィスで快適な時間を過ごしたり、商業施設で用途に合った雰囲気演出する空間を提供します。



ラゾーナ川崎東芝ビル(神奈川県)

規模 S造・SRC造・免震構造 地上15階  
延床面積 104,594㎡

### 人と環境とが共存

OA機器の導入により、事務の作業効率は以前より目覚ましく進歩しました。しかしあくまでオフィスの主役はそこで働く人々。1日の約3分の1以上の時間を過ごす空間として、オフィスは人に優しい空間でなくてはなりません。

また劇場やドーム型スポーツ施設に代表される大空間や天候を気にせず余暇を満喫できる博物館、屋内型ショッピングモールなど、それぞれの空間は様々な用途があり、目的・条件に合わせてコントロールし、最適な環境を作り出すことが求められます。

当社は、オフィスビルや商業施設・文化施設に対して常に最適環境とは何かを考え、目に見えないところで最新の技術を駆使し快適さを提供いたします。



野村総合研究所 東京第一データセンター(東京都)

規模 S造(CFT) 地上4階 地下1階 塔屋1階  
延床面積 38,820㎡





ららぽーとTOKYO-BAY西館(千葉県)

規模 S造 地上4階  
延床面積 40,180㎡



ラブラ2 (LoveLa2) (新潟県)

規模 RCSS造(一部SRC造・S造) 地上8階  
(5階~8階は駐車場)  
延床面積 31,900㎡



室町東三井ビルディング(東京都)

規模 S造(一部SRC造・RC造)  
地上22階 地下4階 塔屋2階  
延床面積 約41,000㎡



由利本荘市文化交流館「カダーレ」(秋田県)

規模 RC造 地上3階 地下1階  
延床面積 11,750㎡





## ホテル、学校、病院

Hotel, school and hospital

# 快適で安心できる空間を実現

とっておきの自分時間や、安心して福祉に身をゆだねられる場所が欲しい。  
そんな要望を叶える環境をお届けします。



帝国ホテル(東京都)

(写真提供: 帝国ホテル)

規模 SRC造 本館:地上17階 地下3階  
帝国ホテルタワー:地上31階 地下4階  
延床面積 240,250㎡

### 快適に過ごせる空間を絶え間なくサポート

ホテルの客室や病院の病室は、リラックスでき、体を休めるために安心して過ごせる空間であることが大切なポイントです。当社はこうした空間を目的・条件に合わせてコントロールし、それぞれ人のための環境を作り出しています。

たとえばホテルに滞在中、季節を問わず、それぞれ好みの温度に合わせて冷房や暖房の設定を自由にコントロールする事が出来れば、より快適に寛いだ気分で過ごせます。病院では、健康状態がデリケートな方々のために、院内感染を防止するための「空気中の細菌除去」や「適切な気流制御」「穏やかな冷暖房」「臭気の除去」などの多くの必要条件があります。

また、これらの施設では24時間空調が止まることは許されません。当社は、あらゆるケースの中でフレキシブルに対応し、快適に過ごせる空間を絶え間なくサポートいたします。





愛知大学名古屋キャンパス(愛知県)

規模 講義棟:SRC造(一部S造)  
地上11階 地下1階 塔屋1階  
厚生棟:RC造(一部S造及びSRC造)  
地上10階 地下1階 塔屋1階  
延床面積 62,711㎡



つがる総合病院(青森県)

規模 RC造免震構造 地上10階  
延床面積 36,872㎡



千葉工業大学2号棟(千葉県)

規模 S造 地上20階 地下1階 塔屋1階  
延床面積 約28,571㎡



ホテルモンテ沖縄スパ&リゾート(沖縄県)

規模 S造 地上12階 塔屋1階  
延床面積 約42,213㎡



浜田医療センター(島根県)

規模 RC造(一部SRC造・S造) 地上6階  
延床面積 約26,159㎡



# 工場、研究所

Industry and laboratory

## 最先端の 産業施設に対応

わずかな違いも許されない。  
未来を創造する施設に欠かせないクリーンな環境を実現させます。

### 可視化技術とシミュレーション技術を活用

半導体や液晶パネル・二次電池などの製造工場は、空気の清浄度や温湿度がそのまま製品の品質に影響します。そのため、このような製品を製造する場所の空調には厳しい条件が要求されます。

当社はすでに「0.03ミクロン・クラス1」のシステムを世に送り出しており、加えて空気清浄だけではなく化学物質を除去するケミカル制御やドライエア供給システムなど、高い技術力を発揮しています。目で見ることのできないミクロン単位微粒子を見えるようにする「微粒子可視化技術」と、信頼性のあるシミュレーション技術を活用し、お客様にご満足いただける最適な空気環境を提案いたします。

#### デンソー東日本工場(福島県)

規模 S造 地上1階  
延床面積 工場・事務所棟 10,765㎡  
原動棟 273㎡







東芝四日市工場(三重県)

規模 S造 地上7階 地下1階  
延床面積 187,300㎡



トモエ乳業第二工場(茨城県)

規模 S造 地上4階  
延床面積 20,407㎡



塩野義製薬医薬研究センター(大阪府)

規模 S造 地上5階 塔屋1階  
延床面積 44,000㎡



オリンパス技術開発センター宇津木(東京都)

規模 RC造 地上5階  
延床面積 30,034㎡



フェザー安全剃刀関工場(岐阜県)

規模 S造 地上3階  
延床面積 12,017㎡

## 省エネ、地域冷暖房

Energy Saving and district heating & cooling

# 環境・エネルギーソリューションを展開

「空気」「水」「熱」を組み合わせ、省エネルギーに配慮した環境に優しい空調システムを提供します。



京都リサーチパーク西地区(京都府)

冷凍機設備容量 3,100RT  
供給延床面積 70,412㎡  
供給敷地面積 3.9ha

### 建物の省エネルギー化をさらに推進

当社は、これまで地域冷暖房施設(DHC)・コージェネレーションシステム(CGS)等の各種熱源施設の建設に多数携わり、エネルギー分野で豊富な実績と高度な技術力を蓄積してきました。

今日、地球規模での環境問題が叫ばれている中、とくに地球温暖化への対策として温室効果ガス削減に向けた建物の省エネルギー化が社会的責務となってきています。

そのような状況の中、長年にわたり蓄積したノウハウを生かしお客様のニーズに適した保有技術活用および補助金制度適用の可能性等を十分に検討した上で、品質面・環境面・経済面でもっともメリットのある省エネルギー設備システムを提案し、数多くの建物の省エネルギー化を実現しています。

当社は、これからも環境設備企業として環境・エネルギーソリューションを展開し、お客様と共にさらなる建物の省エネルギー化を推進することで、地球環境保全への貢献を目指します。



羽田地区地域冷暖房(東京都)

冷凍機設備容量 26,500RT  
供給延床面積 約1,000,000㎡  
供給敷地面積 約30ha





横浜ビジネスパーク地域冷暖房(神奈川県)

冷凍機設備容量 7,630RT  
供給延床面積 223,000㎡  
供給敷地面積 13.2ha

(写真提供：神奈川新聞社)

東京ミッドタウン(東京都)

冷凍機設備容量 10,100RT  
供給延床面積 446,300㎡  
供給敷地面積 6.89ha



神戸ハーバランドエネルギーセンター(兵庫県)

冷凍機設備容量 10,000RT  
供給延床面積 578,000㎡  
供給敷地面積 22.6ha



# リニューアル、メンテナンス

Renewal and maintenance

## “ワンストップサービス”で最適な状態を維持

信頼できる専門技術、経験豊かな人材、多彩な実績により「メンテナンス&リニューアルサービス」に取り組んでいます。



三井本館(東京都)

規模 SRC造 地上7階 地下2階 塔屋1階  
延床面積 36,225㎡

### 定期的なメンテナンスと更新を提供

建物はおよそ60年の長期にわたる使用が可能ですが、その中にある設備の機能は腐食・摩耗などによる物理的劣化と、お客様のニーズの多様化、法改正、地球環境などによる社会的劣化により15～20年でその寿命を迎えます。そこで、設備の劣化・老朽化を防ぎ機能低下を最小限にするためには、定期的なメンテナンスを欠かすことはできません。

また、社会的劣化を解決するにはリニューアルにより設備機能の向上を図る必要があります。新日本空調はメンテナンスとリニューアル技術で、お客様の大切な資産を守り、価値あるものといたします。



海老名市文化会館(神奈川県)

規模 SRC造 地上4階 塔屋1階  
延床面積 9,200㎡



名古屋三井ビルディング本館(愛知県)

規模 S造・RC造 地上18階 地下2階  
塔屋2階  
延床面積 30,029㎡





京都国立近代美術館(京都府)

規模 SRC造 地上4階 地下1階  
延床面積 9,762㎡



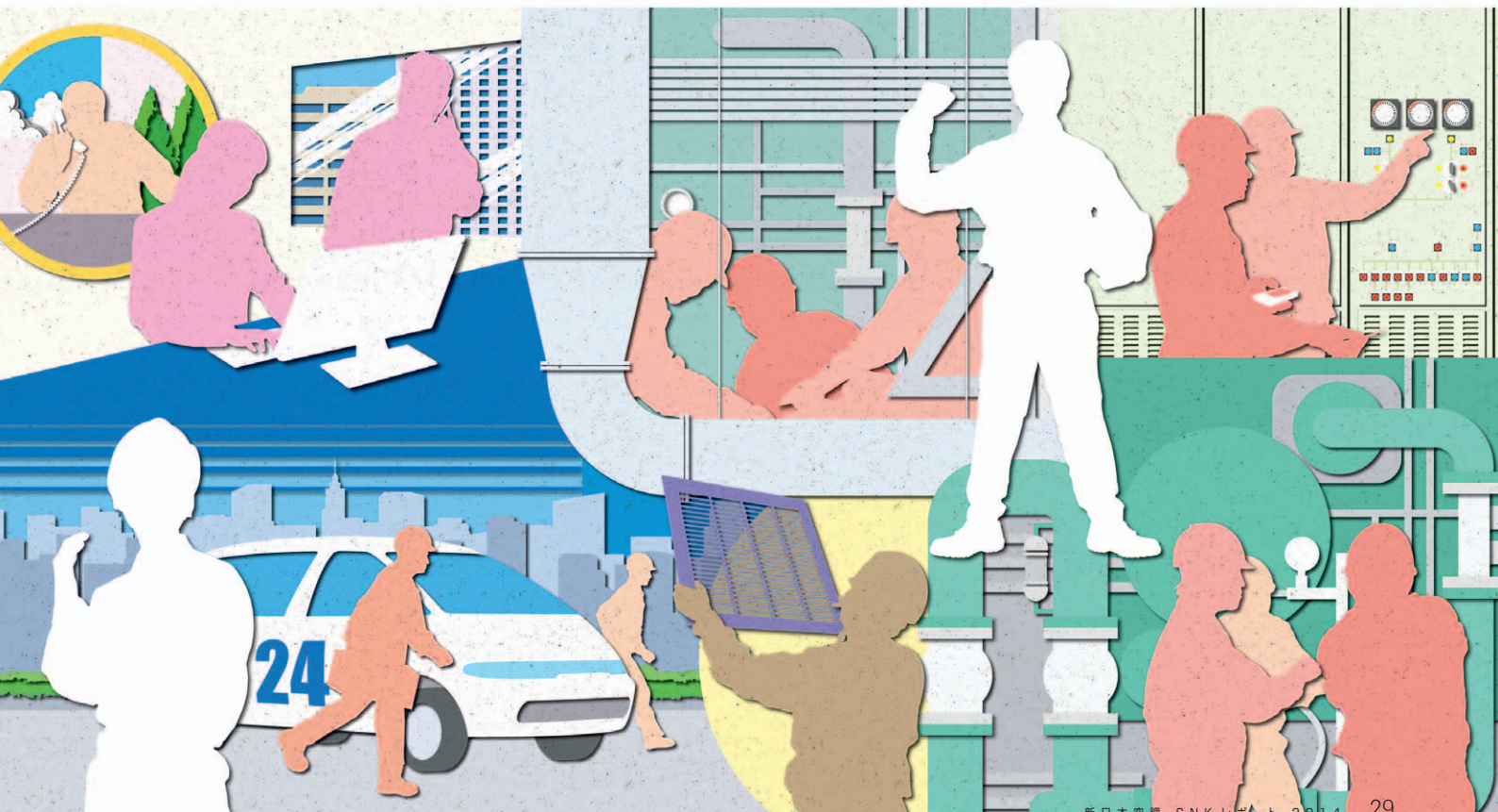
霞が関ビル(東京都)

規模 S造 一部SRC造  
地上36階 地下3階 塔屋3階  
延床面積 152,223㎡

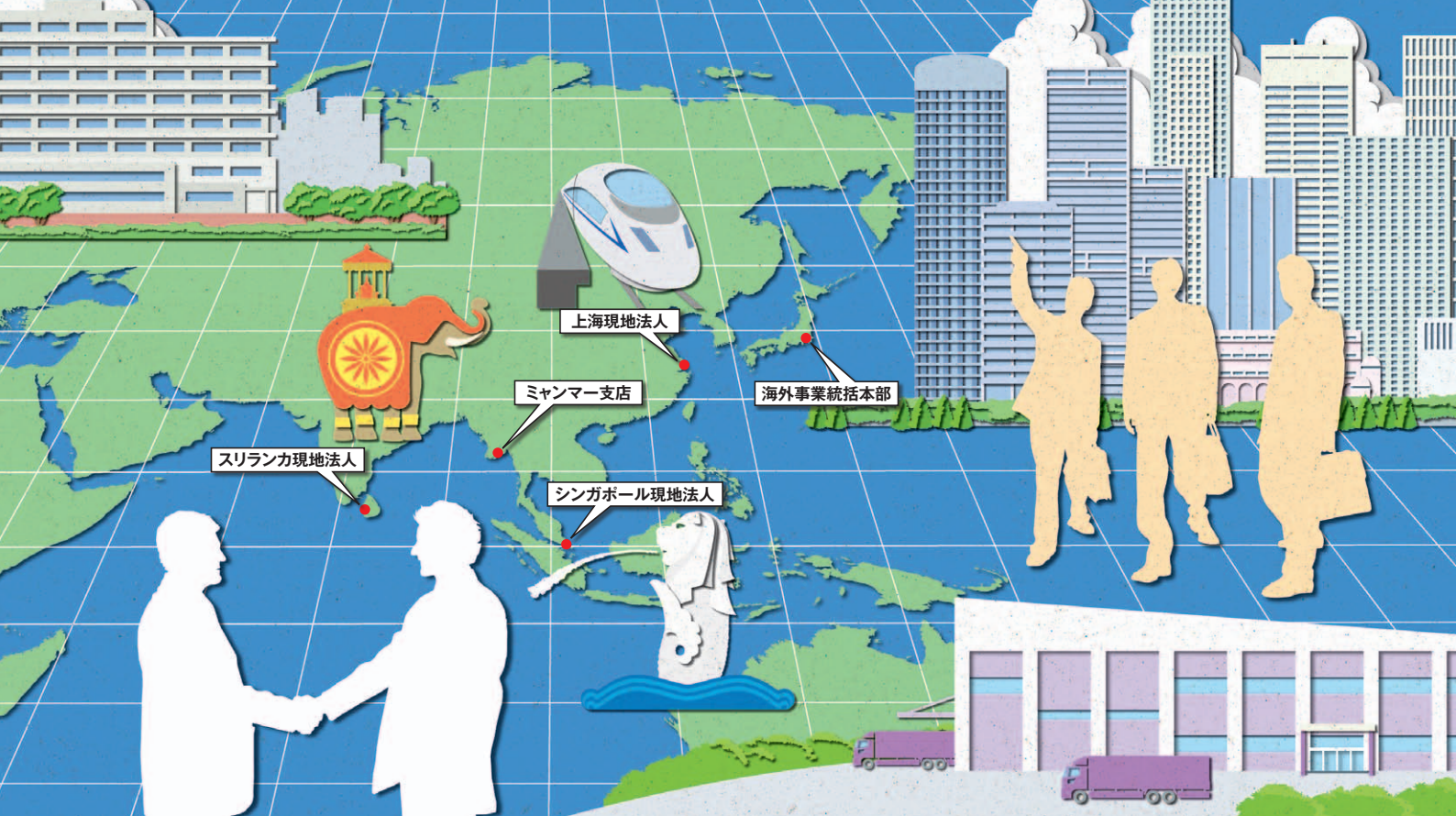


聖路加国際病院(東京都)

規模 SRC造 本館:地上11階 地下2階  
旧館:地上7階 地下1階  
延床面積 本館:60,730㎡ 旧館:25,819㎡







## 海外

Foreign operations

# アジアへ、そして世界へ

グローバル企業の皆様のアジア展開に「SNK品質」でお応えします。



### 海外事業統括本部



取締役海外事業  
統括本部長  
**赤松 敬一**

海外事業統括本部は、上海(天津、広州含む)、スリランカ、シンガポール(ミャンマー支店含む)の各現地法人を統括すると共に、本社・各本部との連携や内部統制はもとより、「SNK品質」の向上を目指し、当社の海外事業遂行力を更に高め、グローバルに展開するお客様に対し、多方面から貢献していく所存です。

### 更なる事業拠点を展開予定

当社は、海外市場において日本国内で永年培ってきた空調技術ノウハウをグローバルに展開し、空調、衛生、電気、消火設備に留まらず、プラント設備、ユーティリティ設備等を手掛け、総合設備業としてお客様に貢献してきました。その歴史は1973年の進出を皮切りにアジア、中近東、東欧、アフリカ等を含む、36ヶ国にものびります。昨年度からスタートした海外事業統括本部も2年目を迎え、新たにミャンマー支店を再設立し、2014年度は、統括本部+4ヶ国の事業拠点体制で、お客様の様々なニーズやご要望に応じていく所存です。

更には、将来的に市場の拡大が見込まれるアジア地域の複数の国々における事業化サーベイに取り組み、当社の海外事業ネットワークを拡大し、更なる市場展開を図る計画です。





総経理  
**馬 志剛**

### 上海現地法人

1976年に中国進出後、2003年に上海現地法人として生まれ変わり、はや10周年を迎えました。その間広州、天津、江蘇分公司を設立、一方で現地職員を日本国内での研修で優秀な技術者へと育成するなど質・量ともに成長してきました。今後も「信頼と技術のSNK(上海)」を胸に「ワンストップソリューションの総合設備業」として邁進していきます。



#### 上海ヤクルト

空調・衛生・消火・ボイラ・生産冷却水・コンプレッサ・二次側電気設備を施工



社長  
**須磨 恵太郎**

### スリランカ現地法人

1980年に進出以降30年以上に亘り、国会議事堂、コロンボ空港等、数々の実績を積み重ねて来ました。設計から施工、メンテまで一貫して行うスリランカでは数少ない総合設備会社です。自社の加工工場と熟練工を活用し、他社との差別化を図っています。外国投資拡大に伴い、更なる飛躍をすべく、今まで以上に頑張っていく所存です。



#### TOYOTA LANKAショールーム・修理工場

空調・衛生・消火・電気設備を設計・施工

### シンガポール現地法人



社長  
**坂本 裕**



#### Orchard Turn

高層マンション部分の空調設備を施工

1983年の進出以降、チャンギ空港、同国初の地域冷房施設、AFPD液晶パネル工場、大型開発事業のオーチャード・ターンやマリナー・ベイ・サンズ、世界最大手のIT企業のデータセンター等、数々の高付加価値物件を手掛けてきました。現法化の4年目になる今年は、メコン経済圏の事業ネットワーク化に着手するとともに今後も発展が見込まれるシンガポールにおいて更に飛躍したいと思います。

### シンガポール現地法人 ミャンマー支店



支店長  
**白木 幹生**



#### Golden Hill Tower Ltd.

空調・衛生・消火・電気設備を施工

2014年1月、アジア最後のフロンティアとして熱い視線が注がれるミャンマーへ再進出しました。1995年の初進出の時には、五つ星ホテルや外国人向けコンドミニウム等の設計施工に携わり、また経済制裁時期には育成したナショナルスタッフや協力会社を周辺国事業で継続活用してきました。今後、世界の主要製造業並びにサービス業の進出が期待される同国において本格的な事業活動を行って参ります。

Safety, quality,  
and  
environment  
are  
managed preferentially

# 安全・品質・環境マネジメント

マネジメントシステムのさらなる実効性を追求しています。



SAFETY, QUALITY, AND ENVIRONMENT ARE MANAGED PREFERENTIALLY

## マネジメントシステムの概要

労働災害・品質事故・環境汚染の予防を目的に、安全 (OHSAS18001)、品質 (ISO9001)、環境 (ISO14001) のマネジメントシステムを統合し、実効性を高めることにより現場作業負荷の低減を目指しています。



執行役員  
技術本部長  
**遠藤 清志**

### 技術本部長のコミットメント

技術方針は、経営に直結する方針として、「労働者の安全衛生、現場施工の品質向上、環境の創造・保全」を維持向上させることで、「お客さまの満足」と「環境への負荷低減」を図ることを表明しています。また、施工管理を行う上では、

安全衛生活動と品質・環境活動を確実に機能させる考え方にに基づき策定しています。

2014年度の技術方針は、“工事業務管理システムを活用した安全・品質強化と再発防止”で、重点実行項目のキーワードを「声かけパトロール」、「分析とフィードバック」としました。具体的には、「声かけパトロール」は作業員の皆様とコミュニケーションを図る具体的な行動として、「分析とフィードバック」は災害・事故の再発防止に向けたリスク予知の活動として推進していきます。

安全・品質・環境に関する価値を協力会社一体となった“チームSNK”で共有し、労働災害・品質事故ゼロを目指して活動します。

### 2014年度技術方針 SNK技術品質深化と現場負荷低減

#### 重点実行項目

- **工事業務管理システムを活用した安全・品質強化と再発防止**
  - ・管理職が率先して「声かけパトロール」を実施し、安全品質を確保する
  - ・チームSNKで「危険予知・影響予知」活動を推進し、重大災害・事故を防止する
  - ・重大災害・事故の分析とフィードバックを行い、再発を防止する
- **環境負荷低減**
  - ・省エネ提案を積極的に推進し、CO<sub>2</sub>排出量を削減する
  - ・資機材の削減・減容化を行い、廃棄物量を削減する
- **現場負荷低減**
  - ・ICTを活用した現場の運営効率化、現場情報の共有化を推進する
  - ・現場毎に工事業務管理システムの効率的な運用を行い、現場負荷低減を図る





SAFETY, QUALITY, AND ENVIRONMENT ARE MANAGED PREFERENTIALLY

# 安全・品質・環境状況



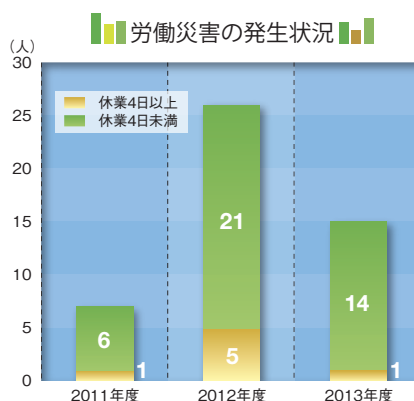
労働災害及び苦情・事故の減少、そして産業廃棄物の適正処理に取り組んでいます。

## 2013年度の労働災害発生状況

2013年度の労働災害被災者は15名でした。

休業4日以上、休業4日未満ともに減少しました。

チームSNKでリスクアセスメントを取り入れた「危険予知」活動を推進するとともに、重大災害の分析とフィードバックにより再発防止を確実に実施します。

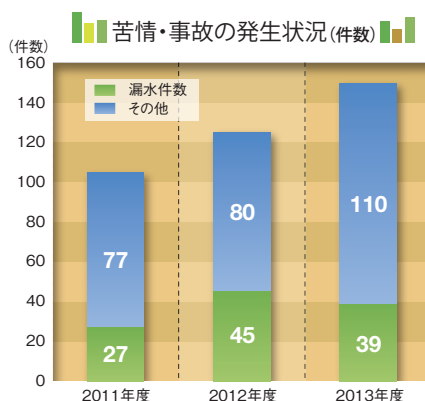


## 2013年度の苦情・事故発生状況

2013年度の苦情事故件数は149件でした。

漏水事故は若干ですが減少したものの全体としては増加傾向です。

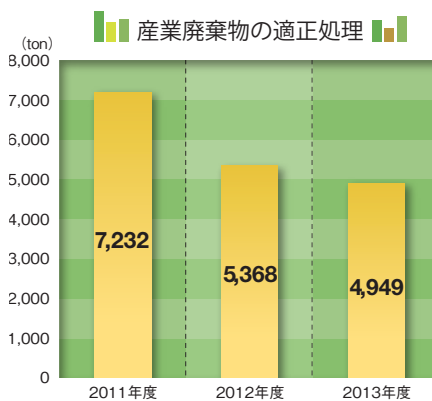
管理職が率先して「声かけパトロール」を実施し、不安全行動を是正するとともにリスクアセスメントを活用した作業手順書の事前確認、および「影響予知」活動の確実な実施により、類似事故の再発防止と一層の品質向上に取り組めます。



## 産業廃棄物の適正処理

2013年度の産業廃棄物は、4,949tonでした。

循環型社会の形成を目指し、現場で出来ること①〔発生抑制(持込まない): Reduce/リデュース〕、②〔再使用: Reuse/リユース〕を実施し、さらに③〔再生利用: Recycle〕を促進させるため分別収集を徹底しました。3R活動に継続して取り組んでいきます。





SAFETY, QUALITY, AND ENVIRONMENT ARE MANAGED PREFERENTIALLY

# 安全・品質・環境活動



“安全第一・健康第一”を守りながら最高の品質を追求しています。  
また、省エネや廃棄物削減など環境活動も積極的に推進しています。

※文中・写真に表記の「高橋社長」「夏井副社長」は、2014年6月20日に、それぞれ会長、社長に就任しております。



熱源機械室を視察  
(右から2番目が高橋社長)



飯野所長と高橋社長(右)

## 社長による現場巡視

2013年10月3日、高橋社長による現場巡視を実施しました。対象の現場は、東京都港区にある「田町駅東口北地区スマートエネルギーセンター第一プラント」です。この現場は、当社が開発した熱源最適制御システム『Energy Quest(エナジークエスト)』を導入しており、首都圏で注目されている現場の1つです。

多種多様な省エネ機器、未利用エネルギーや再生可能エネルギーなどを利用していることが特徴の熱供給施設で、2014年11月より熱源稼働を予定しています。完成後は港区の公共公益施設、児童福祉施設や病院などを含む街区全体の省CO<sub>2</sub>化とエネルギーの最適制御が実現可能となります。

視察を終えた高橋社長から現場スタッフに「お客様との良好な関係でここまで工事を進めてきたことが良く分かる。引き続き事故の無いように竣工まで頑張り、『Energy Quest』をお客様に最大限アピールしてほしい。」と激励の言葉があり、現場視察を終了しました。



「バイオトイレ」を現場事務所に導入



## バイオトイレで作業現場の快適環境を作る

都内某現場事務所の仮設トイレに「バイオトイレ」※を導入しています。

改修工事のため仮設トイレの設置場所がビルの駐車場に限られていました。

周囲に給水・排水設備がなく、くみ取り式では臭気の問題があるため、環境に配慮したトイレを設置しました。給排水工事費用も削減され、臭気も気にならず環境改善が図れました。



実際に使用しているチップ

※トイレに敷設するチップ(木材)の中に生息する大量の微生物が、排泄物に含まれる有機物(炭水化物、蛋白質、脂肪など)を分解・消化し、最後には水と炭酸ガスになります。



## Voice | 体験学習を通じて



名古屋支店  
**当銘 隆太**  
(2014年度入社)

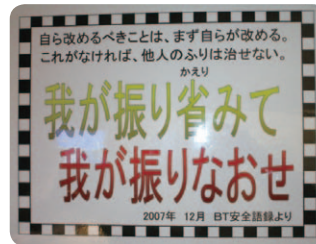
### 貴重な実体験を今後に生かす — JR研修センターにて —

本社での研修は、イラストや写真などの資料により色々な器具・配管などの説明を聞きましたが、研修センターで実物を見ることにより一層理解が深まりました。また、1号2号消火栓の使用方法、放水体験、人形を使った高所からの墜落実験など貴重な体験をしました。

起こってしまった事故を包み隠さず、“同様の事故は起こさない!”という姿勢が伝わりました。私もその姿勢を見習い、現場に生かします。



放水体験にも参加



研修所内のポスター



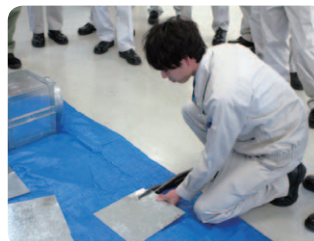
都市施設事業部  
**高木 喬生**  
(2014年度入社)

### 制作過程に触れ、現場の熱気を実感 — ダクト工場にて —

座学での研修では、ダクト関連の写真や寸法などのデータを見ながらの平面図、断面図の作図を行いましたが、実物をイメージできませんでした。実際に様々なダクトの製作過程を見ることでダクトの大きさや製作がいかに大変か実感できました。職人さんの方々がダクトを黙々と作る姿がとてもカッコよく思いました。物を設計し製作するという過程で設計者と作業員の方々が一丸となって現場を作り上げているのだなと感じました。



ダクト吊込み体験



ダクトの厚みを知る



# 「ZEB化・新ショールーム化工事」に着手

## 原子力事業部 工学センター

当社は、「省エネ・創エネ」と「快適な室内環境」を両立するZEB化要素技術を取り入れた自社施設のリニューアル工事を開始しました。

はじめに着手したのが工学センター(横浜市磯子区)で、今年9月末の竣工を予定しています。リニューアル後は、新ショールームを開設するとともに、施設内に見学者ルートを設け、総合的なスマートプレゼンの拠点として活用していきます。

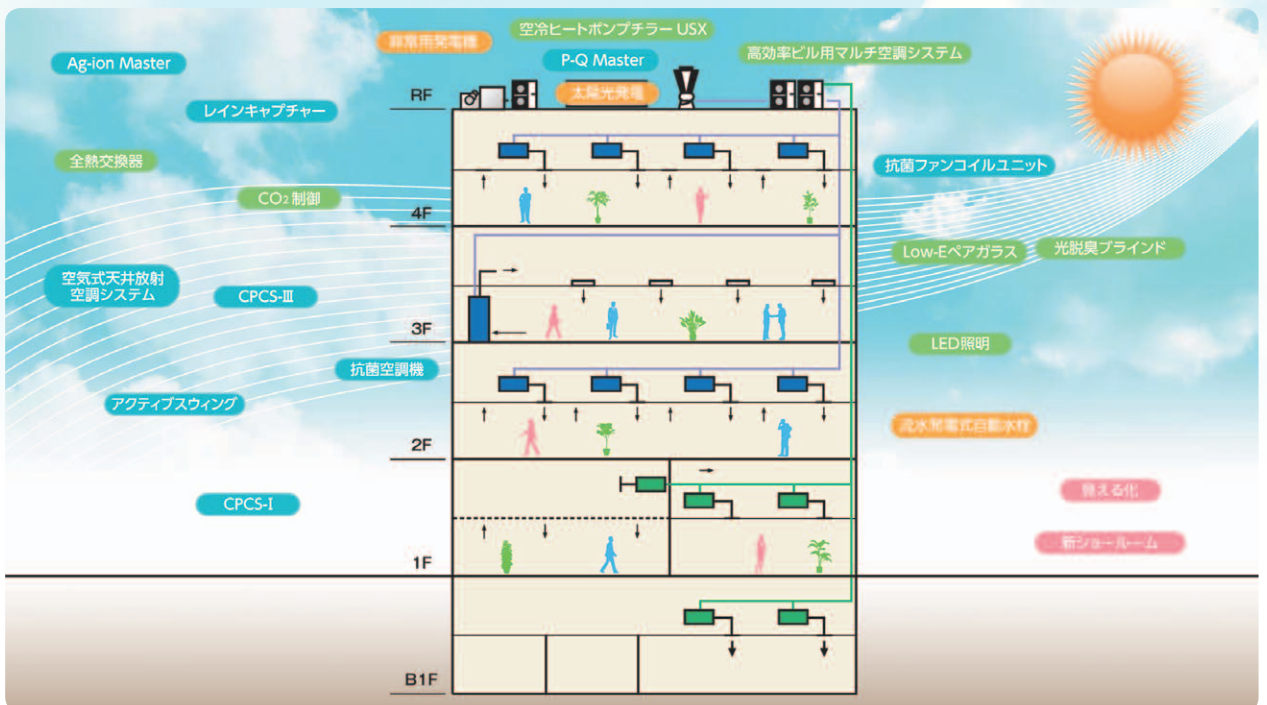
### 工学センターの概要

施工	1983年(築31年)
規模	地上4階 地下1階
構造	SRC
延べ床面積	2,410㎡
ZEB化工事期間	2014年1月~9月

「省エネと快適な室内環境の両立する自社技術(私たち新日本空調が保有するオリジナルの技術)」、「再生可能エネルギーを利用した創エネ技術」、「見える化のための設備」、「BCP対策」で構成された技術の一覧は、下図をご参照下さい。



### 工学センターに導入する技術一覧



ZEB化要素技術を取り入れた「建築・空調・衛生・計装・電気設備に横串を刺した水平方向のワンストップ」と、各種センサで計測したデータを分析することで、省エネ技術の改善を継続的に行っていきます。当社は、お客様の省エネ・創エネ・節電・室内環境改善のソリューションに応じていくとともに地球環境保全に貢献してまいります。

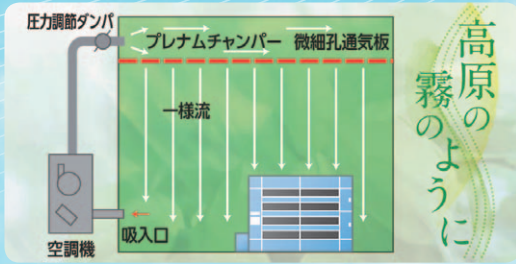
ここでは、工学センターに導入する技術のいくつかを紹介します。





① 省エネと快適な室内環境の両立する自社技術（例）

天井多孔板吹出し「CPCS-I」



「CPCS-I」は、天井内への給気を、無数の通気孔から室内へ“高原で霧が降るように”微風速で送りこみます。ダクトが不要になり、省エネ、省コストなシステムです。

「空気式天井放射空調」と可変風量吹出口「CPCS-III」



「空気式天井放射空調システム」は、天井パネルからの放射熱により、人が快適に感じるシステムです。可変風量吹出口「CPCS-III」を組み合わせることで、さらに省エネで快適な環境が得られます。

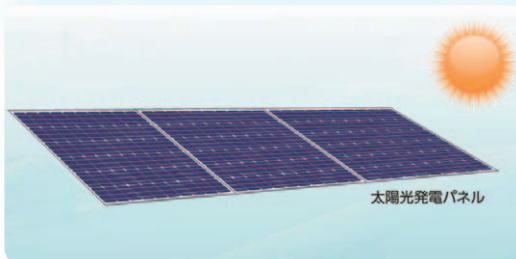
室温スウィング制御「アクティブスウィング」

「アクティブスウィング」は、冷房時に室内温度を上下に変化させる空調運転方式です。室内温度が下がるときに冷感がオーバーシュートして、実際の空気温度より涼しく感じられる人間の特性を利用しています。室温を高めたときの省エネと、室温を下げたときの快適性の両立を実現します。



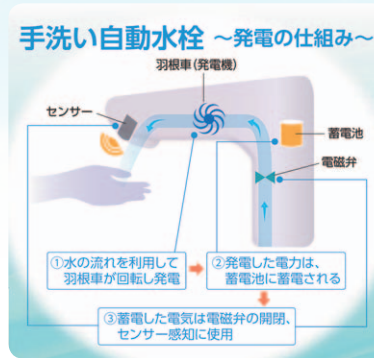
② 省エネ・再生可能エネルギーの利用（例）

太陽光発電



屋上に5.5kWの太陽光発電パネルを設置します。年間6,000kWhの電力を生み出す予定です。この結果、年間2tonのCO<sub>2</sub>を削減します。

小水力発電



水の流れて発電する自動水栓を導入します。

③ 見える化

計測と見える化



④ B C P 対策

非常時の電源確保



ディーゼルエンジン発電機を設置し、非常時の災害対策本部に、通信と照明用の電力を供給します。



身近な

# 空調のはなし

ちょっと休憩

快適な環境を創造すること。それが空調の大切なしごとです。  
しかし快適さは、空調の対象物によって大きく変わってきます。  
そんな空調の快適さを構成する4要素と、  
自然環境の変化について紹介します。



## 空調の4要素

### ●空気調和と快適さとは・・・

「空気調和」という言葉は英語のAir Conditioningに相当し、ある空間の空気状態を望まれる条件に調和させるという技術です。この空気調和を縮めた「空調」や、Air Conditioningを縮めた「エアコン」は皆様にもおなじみの言葉です。

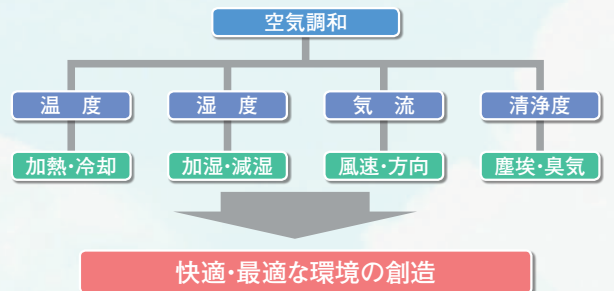
「望まれる条件」は対象空間の用途によって異なり、その空間が居室であれば人間にとって快適な空気状態であり、半導体工場のクリーンルームなどでは何よりも塵埃の無い清浄な環境が求められます。

### ●空気調和の4要素

空気調和が取り扱う、つまり調和させる要素は「温度」、「湿度」、「清浄度」及び「気流」の4つです。高度な空調設備では4つの要素全てに対する要求条件を同時に満たす必要がありますが、簡易な空調設備で

は、例えば温度条件だけの空気調和を図る事例もあります。

しかし、「室温はちょうど良いけれど、乾燥して喉が痛い」という状態では空気調和としては不完全です。人・動植物・機械・食品・薬品など、それぞれにとって快適・最適な環境を創造するのが我々の仕事です。その建物・施設の用途に合った状態に4つの要素をコントロールし、最も望ましい状態を維持します。



## 気温変化と体調

季節の変わり目は、暖かくなったと思ったら急に寒くなったたり、夜暖かかったと思ったら朝方急激に冷え込んだりと、急な気温の変化が私たちの体に様々な負担を与えます。季節の変わり目に体調を崩すことが多いのは、体温調節をする自律神経が外部の温度差に対応できなくなることによります。

人の体温は、季節の変わり目や一日の気温の変化にかかわらず36度～37度といったように、一定に保たれている特徴があります。

気温が変化すると、皮膚にあるセンサーが情報を



気温の変化による体調不良は自律神経が影響しています

キャッチしてカラダの様々な器官が体温を正常な状態を保つように指令が下されます。

しかし、季節の変わり目はこの機能が外部の温度差に対応できなくなることが多くなるため、だるさ、頭痛、不眠、めまいなど体調不良を引き起こします。

また、冬に寒い外から暖かい部屋に入ったときや、夏場に冷房の効いた屋内から暑い外に出たときに、しばらくして花粉症でも無いのに咳やくしゃみ、鼻水がでる場合は寒暖差アレルギーの可能性あります。

寒暖差アレルギーも体温調整機能が温度変化に対応できなくなることで発症します。

自律神経が対応できる温度差は約7度と言われていています。それ以上の温度差になると、カラダが自分では上手に適応できなくなってしまうので、寒暖の差を感じたら、服をこまめに着たり脱いだりすることで体にかかる温度差を調整しましょう。





## 竜巻について

ここ数年、日本でも竜巻による甚大な被害が目立ち始めています。そこで、竜巻の発生メカニズムや特徴、被害の防ぎ方について紹介します。

### ●竜巻とつむじ風(旋風)の違い

竜巻とつむじ風はどちらも渦を巻いた上昇気流であるため、つむじ風が大きくなると竜巻になると思っ

ている方も多いと思いますが、実は発生メカニズムは違います。

つむじ風は、地表が日射で熱せられることで上昇気流が発生し、そこに横方向の強い風が加わることで渦巻状に回転しながら立ち上がる突風です。

日射で地面が加熱された時に発生するため、春の良く晴れた日の午後などに突然前触れもなく発生します。

竜巻は、発達した積乱雲のまわりの空気が回転することで発生します。積乱雲のまわりでゆっくり回転している空気が積乱雲の上昇気流に巻き込まれると、急激に回転半径が小さくなり竜巻が発生します。しかし積乱雲は至る所で発生し、また空気は常に回転運動を行っているため、何がきっかけで竜巻が発生するのか詳しい仕組みは明確には分かっていません。

	つむじ風	竜巻
気象条件	晴れて気温が高いとき	積乱雲があるとき
発生場所	地表近く	上空
持続時間	1分程度	数十分間

### ●竜巻の規模(強度)

竜巻の規模(強度)は、シカゴ大学の名誉教授だった藤田哲也博士が、アレン・ピアソン国立暴風雨予報センター(現 暴風雨予測センター)局長と共に提唱した藤田スケール(藤田-ピアソン・スケールとも言われます)にて表されます。

藤田スケール(Fスケール)の等級はF0~F5までの6段階あり、建造物や草木等の被害のほか、状況に応じ

て写真・映像を用いた検証、渦巻き模様のパターン、レーダー追跡、目撃者の証言などを基に風速を大まかに推定し決定します。

藤田スケールは1971年に米国で発表されましたが、日本では2007年4月から、気象庁の予報用語に追加され使用が開始されました。



近年は竜巻の発生が増加、映像で目にする機会も増えています

### ●竜巻が発生したら

竜巻は、直径数十メートルから数百メートルで、非常に速いスピードで数キロメートルに渡って移動します。そのため、短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらすことがあります。

日本では特に、積乱雲が発達しやすい台風シーズンの9月・10月に竜巻の発生が多くなっています。

竜巻の恐ろしさは、巻き上げられた瓦や看板などが猛スピードで飛んでくることです。こうした飛散物に当たると、命を落としたり怪我を負ったりしますので、頑丈な建物の物陰などに避難をして身を守りましょう。

物置や車庫、プレハブの中は危険です。一般の住宅では雨戸・窓・カーテンを閉め、1階の窓のない部屋や地下室に移動し、丈夫な机やテーブルの下に身を伏せるなどしましょう。屋外にいて周辺に身を守る建物がない場合には、水路などくぼんだところに身を伏せて両腕で頭や首を守りましょう。

## 藤田スケール

F0	17~32m/s (約15秒間の平均)	テレビのアンテナなどの弱い構造物が倒れる。小枝が折れ、根の浅い木が傾くことがある。非住家が壊れるかもしれない。
F1	33~49m/s (約10秒間の平均)	屋根瓦が飛び、ガラス窓が割れる。ビニールハウスの被害甚大。根の弱い木は倒れ、強い木は幹が折れたりする。走っている自動車が横風を受けると、道から吹き落とされる。
F2	50~69m/s (約7秒間の平均)	住家の屋根がはぎとられ、弱い非住家は倒壊する。大木が倒れたり、ねじ切られる。自動車が道から吹き飛ばされ、汽車が脱線することがある。
F3	70~92m/s (約5秒間の平均)	壁が押し倒され住家が倒壊する。非住家はバラバラになって飛散し、鉄骨づくりでもつぶれる。汽車は転覆し、自動車はもち上げられて飛ばされる。森林の大木でも、大半折れるか倒れるかし、引き抜かれることもある。
F4	93~116m/s (約4秒間の平均)	住家がバラバラになって辺りに飛散し、弱い非住家は跡形なく吹き飛ばされてしまう。鉄骨づくりでもベシャンコ。列車が吹き飛ばされ、自動車は何十メートルも空中飛行する。1トン以上ある物体が降ってきて、危険の上もない。
F5	117~142m/s (約3秒間の平均)	住家は跡形もなく吹き飛ばされるし、立木の皮がはぎとられてしまったりする。自動車、列車などが持ち上げられて飛行し、とんでもないところまで飛ばされる。数トンもある物体がどこからともなく降ってくる。

気象庁HPより



A dialog builds  
a good relation

# ステークホルダーとの対話

説明責任を果たし、積極的にコミュニケーションを図ることが、  
顧客や株主との良好な関係になると考えます。  
新日本空調はすべての人との対話を大事にします。



A DIALOG BUILDS A GOOD RELATION

## 人権・制度・人材育成・職場環境



柔軟性と多様性を持った人事制度と人材登用制度により  
働き甲斐のある職場づくりを推進し、  
グループ社員個々の「人間力向上」に努めています。



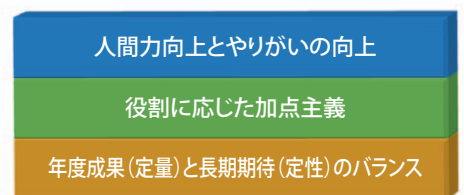
管理本部  
人事部長  
**井上 聖**



### 役割と成果に見合った処遇制度

新日本空調グループでは、10年以上に  
亘り目標管理制度を運用しています。こ  
れは職員一人ひとりが経営課題を共有し、  
目標を達成するという高い専門性を発揮  
できる人材を育成することがそのねらい  
です。2014年4月には、役割と成果に見  
合った、より公正でメリハリのある処遇と

するため人事制度を見直しました。  
その基本的考え方は次のとおりです。



### モチベーションを上げるための評価制度

目標管理制度により、職員は年度初め  
に経営課題にリンクした目標設定を行  
います。職員一人ひとりが1年間能力を  
発揮した結果(達成度)は賞与に反映さ  
せています。一方、人事考課は、職員  
の成長に

重点を置いています。発展段階にお  
ける能力開発や、会社が期待する行  
動・役割を評価することにより、成  
長する喜びを感じることができる  
制度としています。





## 果たす役割に応じた加点主義

新日本空調グループは、すべての職員が当事者意識を持ち、それぞれの立場に応じて主体性を発揮する人材の育成を目指しています。新しい人事制度では、果たす役割に応じた手当を新たに導入しました。部下の育成と労務管理上の責任を負う管理職に管理職手当を、管理職とし

てではなく実務のエキスパートとして認められた職員にエキスパート手当を支給します。人材育成をはじめとしたマネジメント能力と、実務における高い業務遂行能力の発揮といった、会社が期待するそれぞれの役割を担うことで、やりがいと誇りを感じることができる制度としています。

## 人材育成の考え方

職員は最も重要な財産であり、その育成・人材開発は絶え間なく取り組むべき重要な経営課題です。研修の機会を提供し、職員が自分自身のキャリアを考え、自己実現を目指して行う努力と自己啓発を支援しています。

### ◎若手人材の早期育成

新入社員研修や現場におけるOJT教育、専門スキルを学ぶ集合研修を定期的実施し、早期に現場代理人を担う人材となるよう育成しています。

### ◎マンツーマン教育

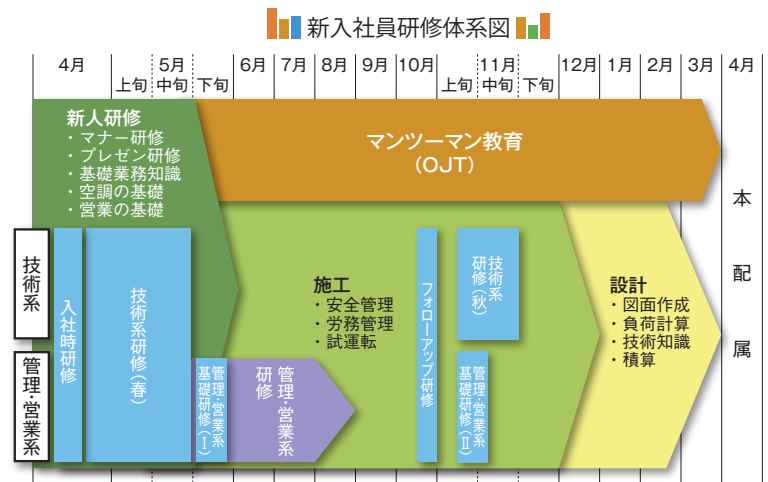
マンツーマン教育とは、新入社員が配属となった1年間、先輩の指導に基づき、目的意識を持って会社生活を送り、社会人として早期に戦力となることを目的として実施している研修制度です。マンツーマン教育のリーダーとなる先輩社員は、事前にOJT手法研修を受講し、新入社員を指導する体制を整えています。



ダクト製作・施工体験研修



CAD研修



※配属部署や期間は人によって異なります

## ダイバーシティの推進

少子高齢化社会の進行など、社会環境の変化に対し、人事制度をはじめとする会社の考え方も柔軟かつ多様性を持つ必要があります。人間力向上を標榜する新日本空調グループでは、職員の多種多様な価値観を取り入れ、活用していく取組みを行っています。

### ◎定年再雇用者活用への取組み

新日本空調グループでは、定年再雇用制度を導入しており、ベテランの経験と実績を大いに活用しています。また、今年度より再雇用者の位置づけを見直し、

長年培ったノウハウや人脈など、新日本空調のDNAが途切れてしまうことがないよう活躍の場を拡げ、業務を通して後継者への伝承を図っています。再雇用勤務の希望者には、期待されている役割を知ること、60歳以降のキャリアプランを作成することを目的とした研修を実施しています。

### ◎女性の活躍を推進

新日本空調グループでは、性別にかかわらず、意欲と能力のある人材を積極的に登用しています。2013年10月には、念願の女性管理職が3名誕生しました。





A DIALOG BUILDS A GOOD RELATION

# コミュニケーション



協力会社と一丸となった“チームSNK”としてコミュニケーションを深めています。

※文中・写真に表記の「高橋社長」「夏井副社長」は、2014年6月20日に、それぞれ会長、社長に就任しております。



盾と認定書が授与されます

認定者(写真左から)  
(有)シンセイ工業 金村盛昇さん  
松井興業(株) 野澤淳さん  
(株)東海調温 早坂浩二さん  
高橋社長  
(株)西部保温 西村英司さん  
(有)共同設備 南條智明さん



## 2014年度“SNK匠”を認定 ～ チームSNKによる「SNK品質(超信頼品質)」の向上を～

2014年4月18日、2014年度本社・首都圏地区安全衛生大会で「優秀技能者“SNK匠”」の認定式を行いました。

今年度の「SNK匠」認定者は5名、いずれも各事業部から推薦を受けた協力会社の技能者の中から厳選された方々で、

2008年度の制度創設から累計して27名を優秀技能者として認定しました。

認定に際して高橋社長は、「今回

認定された方々が現場の安全文化の醸成を担い、『SNK品質』の向上に向けて、ますます“なくてはならない人”となることを確信しております。また、その姿を見て後に続く技能者が活躍することを願います。」とお祝いの言葉を述べました。

当社は今後も、「優秀技能者“SNK匠”」を認定することにより、その栄誉を称え、現場最前線の技術と安全文化を伝承し、「SNK品質(超信頼品質)」の向上を図って参ります。

詳細につきましては、当社ホームページのEvent & Newsをご覧ください。

## 首都圏地区協力会 安全・品質連絡会

協力会社とのコミュニケーションの充実を図るため、本社・首都圏地区の事業部(都市施設事業部、産業施設事業部、リニューアル事業部、関東支店、横浜支店)にて「首都圏地区協力会 安全・品質連絡会」を毎月開催しています。

目的は、危険予知活動(労働災害のリスクアセスメント)、影響予知活動(品質事故のリスクアセスメント)を推進し、重大災害・事故を防止することです。

本連絡会では、技術系社員と協力会員各社が一堂に会して、労働災害・品質事故の発生状況、再発防止策、関係機関からの順守事項などの情報を共有します。

各報告はプロジェクターを使用し、写



各現場ごとに事故再発防止策などを発表

真・イラストなどを用いて“見える化”を図るとともに、再発防止策に関しては実際に現場で実施できるものを協力会社の方々の意見を取り入れ討議しています。

本連絡会にて、情報を共有する事により“チームSNK”として一枚岩の結束を構築しています。

今後も継続的に本連絡会を開催し重大災害・事故を防止していきます。





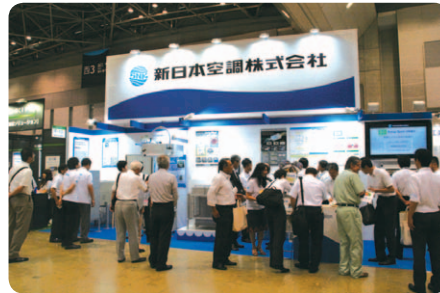
(左から)  
夏井副社長、西川協力会会長、  
山本専務(現顧問)、高橋社長

### MACS2013で施工技術を展示・実演

東京ビッグサイトで2013年7月31日～8月2日に開催された「第12回スマート空調衛生システム展『MACS2013』」に出展しました。この展示会は、ダクト、配管、保温の各工業会が主催者で、省エネ、省コストを実現する空調衛生システムの情報を発信するものです。展示会には70社・団体が参加し3日間の総来場者数は約15,000人、当社ブースへも700名以上のお客さまが立ち寄られ、大変賑わいました。

当社は、施工技術を形にした実機を展示し、ダクト・配管の大切さとそれらを用いた開発技術をアピールしました。熱源最適制御システム「Energy Quest」、省エネポン

プコントローラー「P-Q master+」、浸水防止ダンパ「ジャバツShut」、気化式加湿器衛生対策システム「Ag-ion Master」、新型抗菌空調機、ドレン通水試験機「ドレンアップチェッカー」、低周波用消音器「CUBE」の計7点を、実演と展示で紹介しました。



大勢のご来場者

### 2013年度「技術発表会」を開催 ～ 海外3現地法人、新日空サービスを含む、オールSNKで実施 ～

2013年11月28日～29日、「技術発表会」を開催しました。同発表会は、全社技術部門の解決すべき技術課題に関する取組み成果を発表し、技術の共有と問題解決力の向上、そして技術の伝承を図ることを目的に、技術本部長の主催により「SNK品質」を具現化する場の一つとして毎年開催しております。今年度は、海外3現法、新日空サービスを加えた“オールSNK”での発表会となり、2日間で100名以上が参加しました。

具体的には、最新の環境建築への改修、海外での省エネデータセンターの施工、省エネ改修ビルの運用状況、地中熱利用、ダクトの保全技術、微粒子可視化とシミュレーション技術、2014年1月より

改修工事を開始する工学センター(SKC)におけるZEB化への取組みと保有技術の導入など、例年を大幅に上回る24テーマの発表に対して、活発な質疑応答と意見交換を行ないました。



技術の共有と問題解決力の向上、技術の伝承を図ります





A DIALOG BUILDS A GOOD RELATION

# 社会貢献活動



「良き企業市民」として、ステークホルダー（顧客、株主、協力会社、職員、地域社会等）とのコミュニケーションの活性化を図るとともに、芸術文化・スポーツ・教育・福祉などの振興を継続的に支援してまいります。また、職員のボランティア活動への参加を支援しています。



2013年9月7日(土)  
広島県呉市・二河野球場にて開催された  
「第8回三井ゴールデン・クラブ野球教室」



2013年11月28日(木)  
都内のホテルにて開催された  
「第42回三井ゴールデン・クラブ賞」授賞式



将来の夢に向かって励んでいきたいと語る  
子どもたち

三井広報委員会の沿革・活動内容等については、同委員会のホームページ (<http://www.mitsuipr.com/>) をご覧下さい。  
(写真提供：三井広報委員会)

## 三井広報委員会の活動に継続参加

新日本空調は三井グループの一員として、1991年から「三井広報委員会（メンバー会社：24社、特別会員会社：1社）」の活動に参加しています。

同委員会は、1972年に設立され、三井

## 「三井ゴールデン・クラブ賞」の提供と 「三井ゴールデン・クラブ賞野球教室」の開催

同委員会では、毎年プロ野球セ・パ両リーグの守備のベストナインに贈られる「三井ゴールデン・クラブ賞」をこれまでに42回提供しています。また、2010年度からは、「三井ヒューマンプロジェクト」の一環として同賞受賞歴を持つ元プロ野球選手4名（投手、捕手、内野手、外野手）とコンディショニングコーチを講

グループ各社がまとめ、さまざまな文化活動および広報活動を通じて、国際交流や地域社会の活性化に貢献するとともに、社会の繁栄と福祉に寄与することを行動理念としています。



2014年3月15日(土)  
神奈川県相模原市・サーティーフォー相模原球場にて開催された「第9回三井ゴールデン・クラブ野球教室」

師に招いて、少年野球の指導者を対象とした「三井ゴールデン・クラブ野球教室」を全国各地で9回開催しており、傷害予防法や守備を中心とした基本技術と指導方法など、将来を担う子どもたちが楽しんで野球に取り組める環境づくりをお手伝いしています。

## 「チャンス・フォー・チルドレン(CFC)」への寄付を実施 ～東日本大震災で被災した子どもたちに、教育の機会を提供～

同委員会は、東日本大震災で被災した子どもたちを支援するため、「公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン（以下、CFC）」へ寄付を行いました。

CFCは、子どもたちの教育格差の解消を目指し、おもに経済的な理由により塾や習い事などの学校外教育の機会を得られない子どもたちに「奨学クーポン」を提供する活動を行っています。三井広報委員会はこの活動に賛同し、今回東日本大震災で被災した子どもたちに向けての寄付を実施いたしました。

2014年3月21日に仙台市で行われた



クーポン贈呈式には小学生から高校生まで14名が出席

クーポン贈呈式では、前年度からの継続利用が決定した子どもたち123名の中から14名が出席し、それぞれ将来の夢にかける想いを語ってくれました。





### 福島県南相馬市・東日本大震災復興支援ボランティア活動報告

2011年3月に起きた東日本大震災以降、有志による復興支援ボランティアとして福島県南相馬市内で活動を行っています。2013年度は5、7、11月の計3回活動し、毎回10人前後の参加者があり、現地では、植栽、竹、木などの伐採・撤去、畑の草刈り、個人宅やホテルの掃除、家具・家材の搬出、ビニールハウスの解体などを行いました。震災から3年経ちます。しかし被災地では皆さんが思われている以上に復興が進んでおりませ

ん。「できる人が、できる時に、できる事をやる」今後も継続していきたいと思っています。



11月に参加した有志メンバー



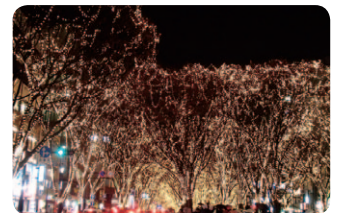
竹林伐採の様子

### 2013 SENDAI 光のページェント前 環境美化活動に参加

2013年12月3日、東北支店有志12名にて仙台市街地の「環境美化活動」に参加しました。全体では約400人が参加したこの活動は、その週末の12月6日から開催され、仙台冬の風物詩「SENDAI 光のページェント」を美しくきれいな街並で観ていただくという主旨のもと行われました。各グループに割り振られた担当地区を、参加者全員で黙々と手際よくゴミ拾いに終始しました。参加者から

は「参加者一丸となって街をきれいにすることができ、気持ちよくページェント開催を迎えることができた」との感想がありました。夏の活動(仙台七夕祭り前の美化活動)と併せてこれからもこの美化活動を継続していきたいと、参加者一同想いを強くしました。

点灯式後、60万個のイルミネーションにより、仙台市内160本のケヤキ並木が優しく暖かな光に包まれました。



仙台の冬の風物詩です



寒かったですが、頑張りました

### ベルマーク運動による被災地支援の取組み

2013年10月より、ベルマーク収集活動への取組みを全社で開始しました。2013年度下期で集まったベルマークの点数は、東日本大震災で被災した小中学校を中心に計21校に寄贈した一部となりました。今後もベルマークを集める活動を継続していきます。

※ベルマーク運動とはベルマーク教育助成財団が「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」として行っている活動です。「協賛会社」が商品に付けているマーク(1点が1円に換算される)を集め、学校に必要な設備・教材が購入できる仕組みで、誰でも参加ができるボランティア活動です。





大阪ステーションシティ(大阪市)



A DIALOG BUILDS A GOOD RELATION



### 事業部紹介

西日本経済を支える関西エリア 商売の街で先人の財産と信頼を伝えてきました。

# お客様からの信頼の歴史を礎に 多様化するニーズへの真価を極める 大阪支店



「チームSNK」大阪支店の  
決起集会以一致団結

大阪・東京の合同強化合宿で  
切磋琢磨



冬はスキーでリフレッシュ。  
有志を募って活動中

大阪支店は、大阪市の中心を東西に流れる土佐堀川のそばに位置しています。「古きを大事に、新しきに挑戦する」関西特有の気質を生かして、常に一歩進んだお客様満足を目指しています。

大阪支店は、新日本空調の前身である「東洋キャリア工業株式会社」が昭和5年12月に創立され、翌昭和6年(1931年)1月に東洋キャリア初の支店として誕生しました。東洋キャリアの記念すべき初受注は大阪大丸百貨店本店増築工事の空調設備設計施工。2番目の受注も大阪ガスビルと何れも当時としては大型工事かつ、関西では商業ビル、オフィスビルとして初めての冷房装置を施した物件だったそうです。ここから通算すると既に80年以上の歴史があります。

かつての諸先輩(OB)が施工した建物を、現在も同じ建物で当社が携わり、保守・修繕・改修・建替えと、まさに「技術・信頼の伝承」が脈々と行われ現在に至っています。



大阪支店が入居する  
土佐堀ダイビル



支店・営業所の所在地



豊岡市庁舎(兵庫県豊岡市)

四国営業所(香川県高松市)

神戸営業所(兵庫県神戸市)

大阪支店(大阪府大阪市)

京滋総合営業所(京都府京都市)



三好病院(徳島県三好市)

施工事例所在地



ダイビル本館(大阪府大阪市)

支店の人員は105名、管轄エリアは近畿地方(大阪府・京都府・滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県)・四国地方(香川県・徳島県・愛媛県・高知県)であり、官公庁工事、超高層ビル、商業施設、空港、駅など数多くの施工実績を有しています。

大阪支店は土佐堀川近くの土佐堀ダイビルに入居しています。江戸時代、この地域は土佐堀川を中心に各藩の蔵屋敷があり、かつては「天下の台所」と呼ばれ全国有数の物流拠点でした。現在は、安倍政権の下ここ関西を先端医療特区として、関係する分野(医療・製薬・研究施設等)の集積

を掲げ先端医療発信の地として注目を集めています。また京都・奈良・神戸と日本を代表する歴史的建造物、大阪・京都を中心とした食の文化が注目され、関西空港を起点にアジア諸国を筆頭に観光客が増加しており、何れもここ関西の先人たちが脈々と築き、伝承してきた財産が、今を生きる私たちに更なる発展の機会を与えてくれています。この「古きを大事に、新しきに挑戦する」気質を大いにお手本とし、多様化しているお客様ニーズに的確にお応えしてまいります。

Voice 関西からはじまる都市の未来



執行役員支店長  
伊藤 雅基

支店一丸で「なくてはならない会社」に!

この地に赴任以来、早や4年目を迎えました。皆さん大阪と言えば…たこ焼き、お好み焼き、串カツ、吉本(漫才)、道頓堀、関西弁等、色々な事が頭に浮かぶのではないかと思います。私は人情味ある大阪弁を会得しようと日々心掛けていますが、一夜漬けの大阪弁では微妙なイントネーションの違いで逆に変な大阪弁になってしまい、

中々人前で上手く話す事が出来ません。会得までにはまだまだ時間が掛かりそうです。

関西経済もようやく明るい兆しが見えてきました、大阪を中心とした関西圏に於いて、この支店が一丸となり、皆様のニーズに的確に応えた「SNK品質(超信頼品質)」をご提供し、なくてはならない会社としてお役に立ちたいと思っております。



A DIALOG BUILDS A GOOD RELATION

# 学会賞



## 数々の学会賞が物語る、新日本空調の技術

「学会賞」の受賞。それは90年以上にのぼる歴史を持つ空気調和・衛生工学会(会員約1万6千人)が、毎年1回、空気調和衛生分野で技術と研究の向上に貢献する優れた設備に与える、伝統ある輝かしい賞のことで。

### 新日本空調と学会賞

新日本空調は、昭和38(1963)年の第1回受賞以来、すでに30回にわたって「学会賞」を受賞してきました。

これは私たち新日本空調が、理想的な社会環境の創造に取り組んできた姿勢と、それを支える技術力の「証し」といっても過言ではないでしょう。

そして、この実績が信頼を生み、その信頼がま



た新たな実績を生み出していくのだと、私たちは考えています。

広く社会の居住環境・都市環境など、人間生活の向上に貢献するよう、これからも一歩ずつ確実に足跡を残したいと考えております。



霞が関ビル



聖路加国際病院

- 1963年 第1回 技術賞 **東京文化会館**  
(昭和38年) 音楽ホールの換気空調システム

---

- 1965年 第3回 技術賞 **中電ビル**  
(昭和40年) ヒートポンプと二重ダクト方式による空調システム

---

- 1966年 第4回 技術賞 **ホテルニューオータニ**  
(昭和41年) インダクションユニット方式による超高層ホテルの空調システム

---

- 1968年 第6回 技術賞 **パレスサイドビル**  
(昭和43年) 二重ダクト方式による空調システム

---

- 1970年 第8回 技術賞 **霞が関ビル**  
(昭和45年) インダクションユニット方式による超高層ビルの空調システム

---

- 1971年 第9回 技術賞 **全共連厚木事務センター**  
(昭和46年) 地域冷暖房による計算センターの空調システム

---

- 1974年 第12回 技術賞 **東亜不動産新橋ビル**  
(昭和49年) 深夜電力利用と熱回収ヒートポンプによる省エネルギー空調システム

---

- 1975年 第13回 技術賞 **大阪大林ビル**  
(昭和50年) 熱回収と4管式ファンコイルユニット方式による超高層ビルの空調システム

---

- 1976年 第14回 技術賞 **新宿三井ビル**  
(昭和51年) VAV方式による超高層ビルの空調システム

---

- 1977年 第15回 技術賞 **新宿新都心地域冷暖房施設**  
(昭和52年) 超高層ビル群を対象とする地域冷暖房システム

---

- 1983年 第21回 技術賞 **エンジンヒートポンプシステム**  
(昭和58年) ガスエンジンヒートポンプシステムの開発と実用化

---

- 1986年 第24回 技術賞 **大正海上本社ビル**  
(昭和61年) VAV方式による省エネルギー空調システム





- 
- 1987年 第25回 技術賞 (昭和62年) **柏ゴルフ倶楽部クラブハウス**  
総合ヒートポンプによる冷暖房・給湯システム
- 
- 1991年 第29回 技術賞 (平成3年) **鹿島KIビル**  
オープンアトリウム香り空調等を入れたインテリジェントビルの空調システム
- 第5回 技術振興賞 **建築設備配管用可搬式転造ねじ切機の開発**
- 
- 1994年 第8回 技術振興賞 (平成6年) **聖路加国際病院**  
病室の居住性向上を図る空調技術
- 
- 1995年 第33回 技術賞 (平成7年) **サッポロファクトリー**  
積雪寒冷都市型アトリウムの環境・エネルギー計画
- 
- 1996年 第10回 技術振興賞 (平成8年) **東京都江戸東京博物館**  
大空間展示室の空調技術
- 
- 1998年 第36回 技術賞 (平成10年) **DNタワー21**  
二重サッシ換気システムおよび二重ダクトVAV方式
- 
- 2002年 第16回 技術振興賞 (平成14年) **千葉市中央図書館・生涯学習センター**  
閲覧室の空調技術
- ラグザタワー**  
地球環境・都市環境にやさしい設備計画
- 
- 2003年 第41回 技術賞 (平成15年) **セイコーエプソン豊科事業所 第2工場棟**  
周辺環境に配慮した省エネルギー工場
- 
- 2007年 第21回 技術振興賞 (平成19年) **セイコーエプソン千歳事業所**  
寒冷地の特性を活かした「開放式冷却塔でのフリークーリング」
- 秋葉原ダイビル**  
電力・ガス・氷蓄熱方式のベストミックスによる高効率システム
- 御蔵入交流館(田島町総合文化・保健複合施設)**  
対流式併用放射冷暖房システムによる良好な快適性
- 
- 2008年 第22回 技術振興賞 (平成20年) **仲谷マイクロデバイス本社工場**  
半導体後工程生産工場における省エネルギー・熱源・空調システム
- 
- 2012年 第50回 論文賞 (平成24年) **熱源システムのモデリングによるポンプ可変速制御方法**  
異なる機種・容量の熱源機器が混在するシステムや、可変流量対応機器と定流量機器が混在するシステムにおいても、単式ポンプ方式の採用を可能とする制御方法
- 第26回 技術振興賞 **会津オリバス株式会社拡張工事**  
冷水蓄熱塔と冷熱源設備の運転改善という拡張工事前との実績比で約40%のCO<sub>2</sub>排出量削減を達成
- マルチ難波ビル**  
経済性向上と信頼性の高いエネルギーセキュリティを実現し、さらに災害時の防災拠点としても機能するホテル
- 
- 2014年 第2回 リニューアル賞 (平成26年) **名古屋三井ビルディング本館における省CO<sub>2</sub>改修**  
既存システムの実態把握・問題点を抽出し改修計画を立案テナントビルという複雑な施工条件の中、省エネ・省CO<sub>2</sub>を実現



東京都江戸東京博物館 (写真提供: 東京都江戸東京博物館)



秋葉原ダイビル



会津オリバス株式会社



名古屋三井ビルディング本館





A DIALOG BUILDS A GOOD RELATION

社外ステークホルダー・インタビュー



# 未曾有の災害から3年 岩手の大自然と人の温かさで“おもてなし”



今回のインタビューは東日本大震災の後に当社が復旧工事を施工した、岩手県「ホテル羅賀荘」の取締役 三浦支配人に、岩手県の田野畑の海、山をはじめとした自然の美しさ、「ホテル羅賀荘」の過去・現在・未来など今後の活動と、新日本空調に対する印象などを語っていただきました。

「ホテル羅賀荘」の詳細情報については  
ホームページをご参照ください。  
<http://www.ragaso.jp>

株式会社 陸中たのはた ホテル羅賀荘  
取締役

**三浦 力** 支配人

## 岩手・田野畑の“おもてなし”拠点

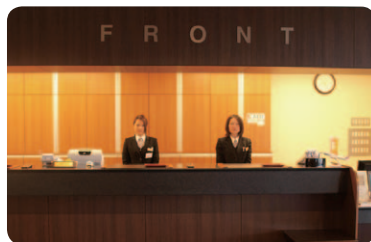
岩手県下閉伊郡田野畑村は岩手県の太平洋側海岸線のほぼ中央部に位置します。ここは、東日本の国立公園では唯一ともいえる本格的な海岸公園で、1955年5月2日に「陸中海岸国立公園」として指定を受けました。2011年3月に発生した東日本大震災の津波で指定区域が大きな被害を受けたため「震災からの復興および被害の伝承」を目的に、2013年5月24日に現在の「三陸復興国立公園」の名称に改められました。

「ホテル羅賀荘」はその「三陸復興国立公園」の美しい海岸近くに凛々しく建っています。運営は、田野畑村を株主とする第三セクターの「株式会社陸中たのはた」が行っています。

昨年(2013年度)ホテル羅賀荘の年間来場者は3万5000人を超え、震災前の4万人に近づいてきていますが、3年が経過した今もまだまだ復興の途上にあるところです。震災前を超える来場者を目指し、“おもてなし”の心をもってお客様にサービスを提供されています。

## 田野畑生まれの田野畑育ち

三浦支配人は、岩手県田野畑村出身。幼少の頃から美しい山と海に囲まれて育ったそうです。現在のように物静かな表情とは裏腹に、高校時代は決しておとなしい青年ではなく、活発に飛び回り元気いっぱいだったようです。高校卒業後は、地元から出て行くことも考えられましたが、いつかは戻ってくるのであれば地元で腰を据えることを考え、田野畑村の羅賀荘で働くことを決断されたそうです。グループ内の様々な会社のありとあらゆる仕事を経験され、ホテルの営業担当は40歳を過ぎてから経験されました。当時は思うようにならないことも多く、苦労を重ねられたようです。



お客様の到着を待つフロントスタッフ

そして2003年、支配人に就任。「これまで色々な部署の仕事を経験したことで、どの部門がどんな仕事をどんな気持ちでやっているかということが理解できるようになっていました。支配人の仕事はホテル全体をまとめる仕事ですので、大変役に立っていると今では思っています。ホテルとしては、県外からご来場いただく方々と同様に、地元の方も大事なお客様です。年





末年始には忘年会、新年会。地元企業、団体の会議行事など、ホテルをご利用いただく機会はたくさんあります。何とかその要望にお応えできるようスタッフ一同で頑張っているところです。時には地元の顔見知りであるがために『価格の相談』も頼まれたりします。一番頭が痛いところです。

また、“地元へ還元”ということも大事だと考えています。従業員を可能なかぎり地元から採用する『雇用』。ホテルでお客様に提供する食材も出来るだけ地元から調達する『地産地消』。それが第三セクターである“地元企業の使命”と考えています。」とお話しされました。

### 「お客様目線」でのサービスがつなぐ 未来のお客様に

2011年の東日本大震災の被害はまだまだ癒えたといえる状況ではありませんが、リニューアルオープンの時、ちょっとした喜びがあったそうです。

「震災当日、40名あまりの宿泊客の皆様を必死で避難誘導しました。その1年8ヶ月後の2012年11月にリニューアルオープン。その当時、オープン記念の団体ツアーがありましたが、どこかで見覚えのある方が参加していると思ったら、その時のお客様でした。『今回“お礼のつもり”で参加させていただきました。』と声をかけていただいた時は本当に嬉しかったです。」と当時を振り返っておられました。

三浦支配人は、「支配人に就任して2011年の震災の前までは『とにかく単年黒字』を目指して仕事をしていました。しかし、この言葉を聞いて、お客様に満足していただけて、『また羅賀荘に来たい』と思っていただけなのが重要だということが分かった気がしました。」とお話しになりました。

「従業員には、常々『お客様目線』で何でもやっています。最近では食事にこだわりを持っておられるお客様が多くなりました。“食事の中に食べられるものとそうでないものがある”と申し出になるお客様がいらっやいます。こちらとしては“それは出来ません”とお断りすれば簡単なことですが、可能な限りお客様のご希望にそったサービスを提供することを心掛けています。これからも『お客様目線』を大事にご来場いただいたお客様が『リピーター』となっただけのように頑張ります。」と明るく話されました。

### より早い復旧のために取り組む一丸体制

2011年の震災による被害からいち早く立ち直るために、2012年初めからホテルの復旧工事に着手。2012年

11月末に工事完成しリニューアルオープンしました。

「工事期間中、私も毎週1回の定例会議に出席しておりました。震災の影響で、道路などの幹線が十分に復旧していない状況で、工事関係者の皆さんが一致団結し、リニューアル工事を完成していただき、大変感謝しています。新日本空調さんは空調、給排水衛生設備工事を担当いただきご苦勞をかけたと思います。

工事担当で印象に残る出来事がありました。竣工後引き渡しのおとも現場に駐在しておられました。ちょうど年末休暇の時期で、郷里の秋田へ帰省される日だったと思います。ホテルを出発されたあと、機械（ボイラー）にエラー表示が出たので連絡をしました。しばらくして帰って来て、調子を見てくれたのです。後から聞くと、盛岡を過ぎて秋田県に入っていたにもかかわらず帰ってきてくれたようでした。その時はさすがに申し訳ないと思いました。新日本空調さんの真面目さを強く感じたのを覚えています。」

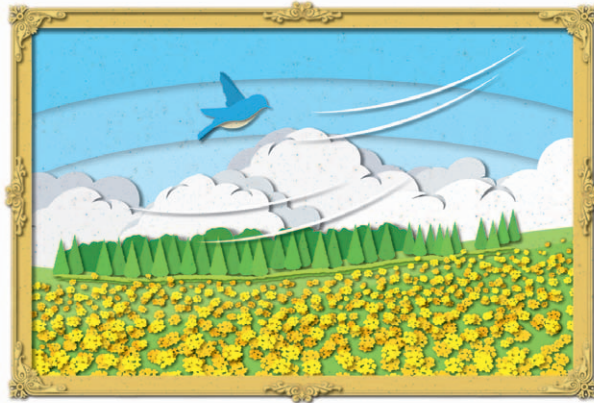
そして、「今後のホテル運営について、館内の空調などの設備はホテルのサービスと密接な関係があります。メンテナンスや緊急時の対応について協力いただきたいと強く思っています。また、適切な時期に、適切なアドバイスや提案を積極的にしていただきたいと思います。」とご要望をいただきました。当社も施工会社としての責任を感じ、「全社一丸」となっただけに対応していきたいと思います。



ホテル羅賀荘 支配人  
**三浦 力氏**

1959年生まれ。  
高校卒業後、陸中たのはた入社。  
ホテル羅賀荘の営業担当をはじめ、  
グループ企業の観光船担当、  
水産加工品製造担当を経て、  
2003年支配人に就任。  
岩手県田野畑村出身。





人と空気と環境と

## 新日本空調株式会社

本レポートは、新日本空調グループにおけるCSR活動の取組み状況について、ステークホルダーに対する説明責任を果たすことを主目的として、CSRに対する新日本空調の考え方、2013年度の取組み、実績等をCSR・広報委員会にて企画・編集したものです。

また、昨年度から「会社案内」を編入し当社の内容をよりわかりやすいものに致しました。本レポートが、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション促進の一助となることを願っております。

### ●本レポートの対象範囲

#### 1. 対象期間

本レポートに掲載の活動内容、データ集計の対象期間は2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)ですが、一部2014年度の内容も含まれます。

#### 2. 対象組織

新日本空調の国内事業所、新日空サービス株式会社および、3つの海外現地法人におけるCSR活動を対象としています。

#### 3. 対象読者

新日本空調の企業活動を支えていただいているステークホルダー(顧客、株主、職員および家族、協力会社等)の皆様、特に株主・投資家および取引先企業の皆様への報告に力点を置いています。

### ●お問い合わせ先

新日本空調株式会社 経営企画本部  
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル  
TEL : 03-3639-2701 FAX : 03-3639-2734

\*新日本空調の企業情報につきましては、ホームページ(<http://www.snk.co.jp>)をご覧ください。

\*アンケート用紙を添付しています。次回レポート作成時の参考とさせていただきますので、本レポートについて皆様の率直なご意見、アドバイスをお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### ●次回発行予定

次回は2015年9月の発行を予定しています。

